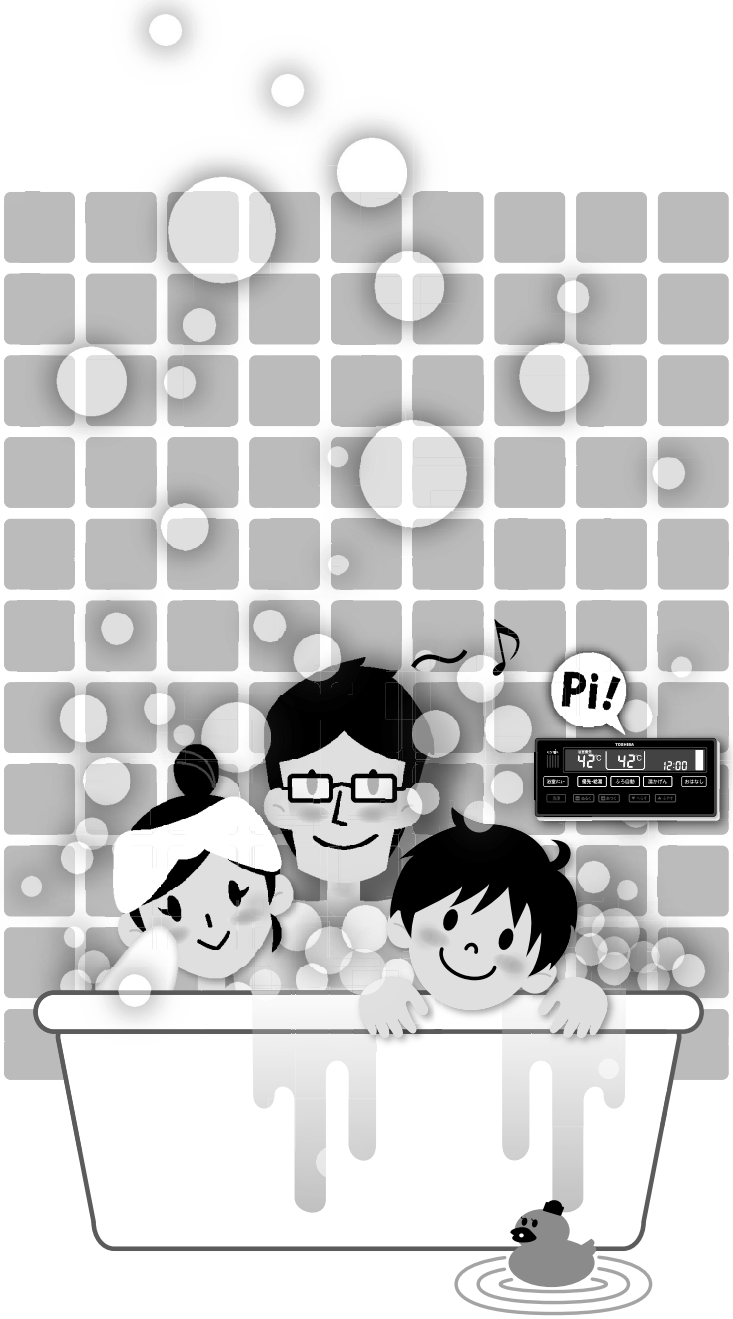
TOSHIBA
Leading Innovation

時間帯別電灯契約用
季節別時間帯別電灯契約用

東芝ヒートポンプ給湯機

取扱説明書
（家庭用）



システム形名

（ユニット形名との対照表は、58～59ページをご覧ください）
※リモコンは全機種別売です。

フルオートタイプ

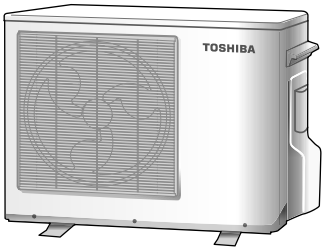
一般地向け（銀イオン発生機能付）

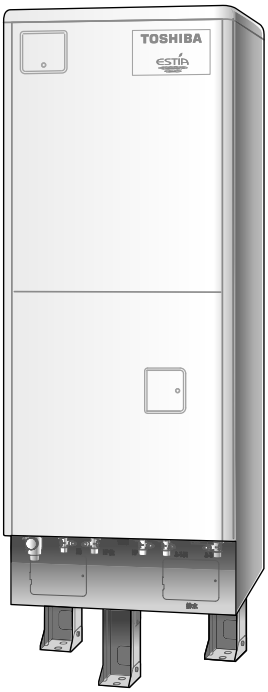
HWH-FB372CG
HWH-FB462SCG
HWH-FB462CG
HWH-FB562CG
HWH-FB372CG-Z
HWH-FB462SCG-Z

一般地向け

HWH-FB372C
HWH-FB462SC

自然冷媒CO_2ヒートポンプ給湯機
東芝エコキュート
ESTIA





日本国内専用品
Use only in Japan

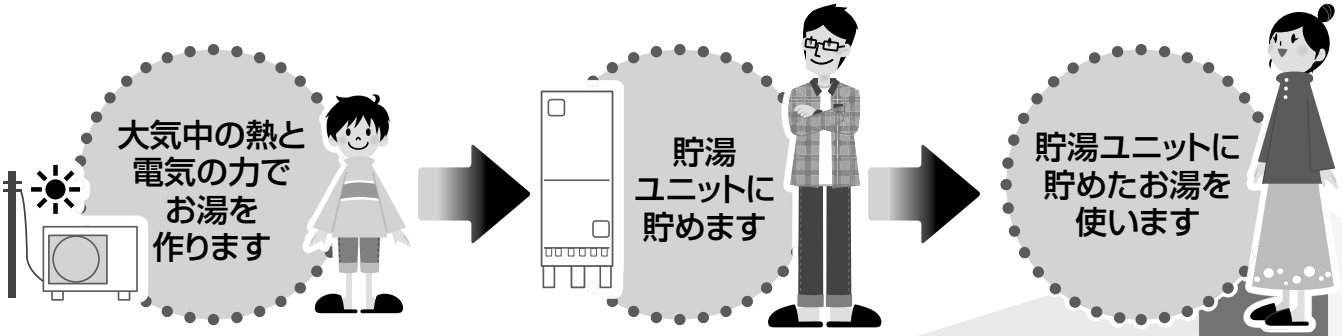
●このたびは東芝ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき、いつでも見られるところに必ず保管してください。
●保証書、工事説明書（据付作業確認書）を販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

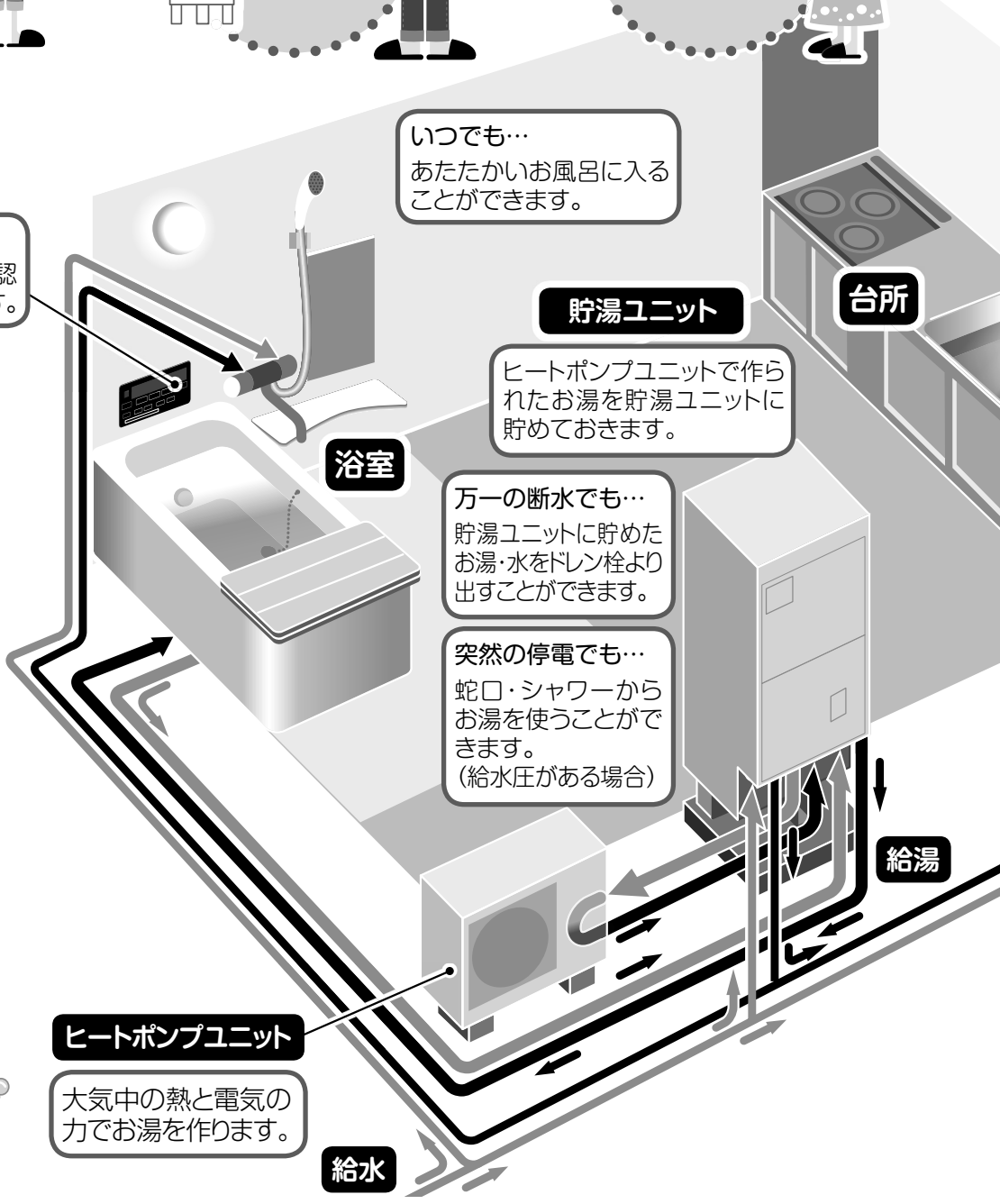
eco スタイル

エコキュートの仕組みと特長

エコキュートは、大気中の熱を利用してお湯を沸かすので電気を節約することができます。
しかも、主に割安な夜間電力を活用して必要な量だけ沸き上げて貯湯ユニットに貯めておけるから給湯コストの削減、安心してたっぷりお湯を使えます。

※ご使用の状態によっては、湯ぎれ防止のため昼間に自動沸き増しすることがあります。

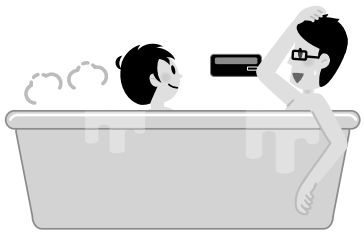




銀イオンでリサイクル!
(銀イオン発生機能付機種のみ)

おふろの湯はり水路に銀イオン発生ユニットを搭載しました。銀イオンの除菌・防臭効果により、後から入る方にも一番風呂気分で快適な入浴をお楽しみいただけます。残り湯は、浴槽・壁面洗浄、洗濯水として利用できます。

30ページ『銀イオンの湯について』



もくじ

知っておいてください
安全上のご注意 …… 4
使用上のお願い …… 6
各部のなまえとはたらき …… 8

お湯をつくるための準備
貯湯ユニットへの水の貯めかた …… 15
時計を合わせる …… 16

基本的な使いかた
お湯を使う …… 17
湯量を見る …… 18
お風呂に湯はりする …… 20
湯かげんを調節する …… 22

お湯を多く使うには
明日のために多めにお湯を沸かす …… 23
沸き増しのしかた【昼間の運転】 …… 24
沸き上げのしかた【夜間の運転】 …… 25

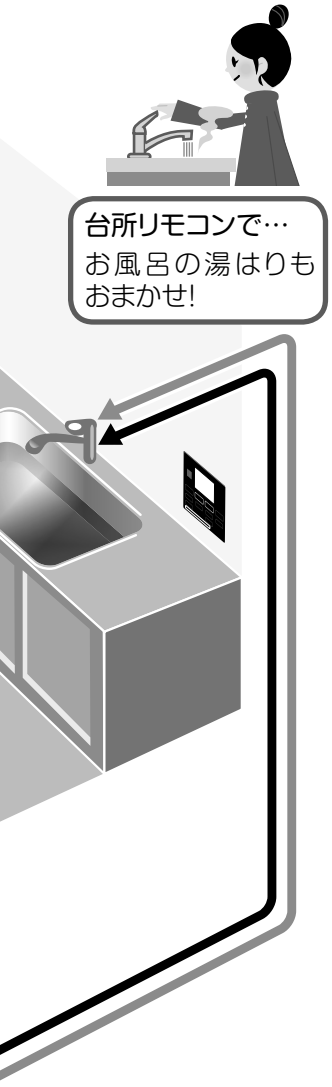
お風呂を上手に使うには
湯はりの予約をする …… 26
ふろ自動運転のモードを選ぶ …… 27
浴室タイマーを使う …… 28
『おはなし』をする …… 29
銀イオンの湯について …… 30
銀イオンの量を替える …… 30
銀イオンの交換時期 …… 31

給湯機を上手に使うには
リモコンの設定を替える …… 32
連絡先の電話番号を登録する …… 34
節約のために【せつやくメニュー】 …… 35
学習自動沸き増しの止めかた …… 36
沸き上げの止めかた …… 37
過去の使用量を見たいとき【モニター】 … 38

お手入れと点検
洗浄のしかた【浴槽配管の洗浄】 …… 39
点検をする（定期点検） …… 42

こんなときには
冬の準備をする【凍結を防止するために】 … 43
長期間使わないとき【排水・水抜き】 …… 44
断水のとき【工事・非常時】 …… 46
家族構成が変わったとき【再学習をさせる】 … 48
電力料金契約を変えたとき …… 49
リモコンの設定を初期化したいとき …… 50
メンテナンスのとき …… 51
このような表示が出たときは …… 52
よくあるお問い合わせ …… 53
故障かな？と思ったとき …… 54

製品仕様
5年保証に関する免責事項 …… 57
仕様表 …… 58
保証とアフターサービス …… 裏表紙



安全上のご注意 必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
- 設置にかかわる注意事項は、工事説明書に記載しておりますので、そちらも合わせてご確認ください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

表示の説明	誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	⚠ 注意	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

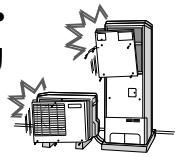
図記号の説明	守っていただかなければならない内容を、図記号で示しています。

	中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。		中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

⚠ 警告

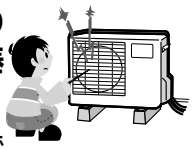
分解禁止

分解・改造・修理をしない
- 火災・感電・けがの原因になります。
（修理は販売店または工事店にご依頼ください）

ヒートポンプユニット・貯湯ユニットの前面カバーは開けない

- 感電の原因になります。

禁　止

機器の近くにガス類や引火物を置かない
- 発火の原因になります。

ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手をいれない

- ファンが回転しているのでけがをすることがあります。

浴槽循環金具のフィルターがゆるんでいたりはずしたままで使わない

- 髪の毛などが吸い込まれ事故や故障の原因になります。

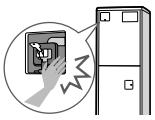
接触禁止

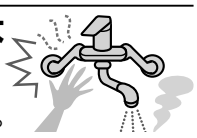
ヒートポンプ配管や接続口・ファンには触れない

- やけどやけがをすることがあります。

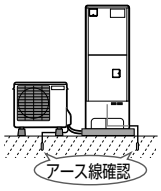
ヒートポンプユニットのアルミフィンには触れない

- けがをすることがあります。

逃し弁点検時には、逃し弁レバー以外に触れない

- やけどの原因になります。

給湯時は混合水栓の本体に触れない

- やけどをすることがあります。

アースを接続する

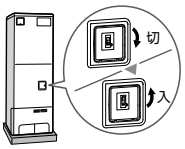
アース工事がされていることを確認する


- 故障や漏電のときに感電の原因になります。（販売店または工事店にご確認ください。）

ぬれ手禁止

漏電しゃ断器はぬれた手で操作しない
- 感電の原因になります。

指　示

漏電しゃ断器の動作を定期的に確認する（年に2～3回）


- 故障のまま使うと漏電したときに感電の原因になります。

お湯の使い始めは湯温などに注意する
- 朝、最初に混合水栓のお湯側を開けるときに蒸気が出ることがあるため、やけどの原因になります。混合水栓のお湯側は少しずつ開けてください。

追いだきやふろ自動運転のポンプ循環中は浴槽循環金具から離れる

- 熱いお湯が出てやけどをすることがあります。浴槽にもぐると髪の毛が浴槽循環金具に吸い込まれたりすることがあります。
- **特にお子様にはご注意ください。**

お湯を使うときはお湯の温度を確認する

- やけどの原因になります。
- 給湯温度を変えるときは、他でお湯を使っていないことを確認してください。
- 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確認してください。

⚠ 警告

異常・故障時は、すぐに使用を中止する

指　示

- 火災・感電・やけど・故障のおそれがあります。
- 漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げの販売店(工事店)または、東芝電気給湯機ご相談センターへご連絡ください。

《異常・故障時の例》

- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- お湯の出が悪かったり、早くなくなる。
- 排水口から常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 焦げくさいにおいや異常な音・振動がする。

⚠ 注意

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない

禁　止

- 本体の転倒や配管の破損によるやけどなど事故の原因になります。
- **特にお子様にはご注意ください。**

そのまま飲用しない

- 長期間の使用によりタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わったりすることがあります。
- 飲用される場合は以下の点に注意し、必ず、一度沸とうさせてください。
  - 必ず水質基準に適合した水を使う。
  - 熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっていた水)は、雑用水として使う。
- 固形物や変色、にごり、異臭があった場合は、飲用には使用せず、すぐに点検を依頼する。

銀アレルギーの人は銀イオンの発生を止める(銀イオン発生機能付機種のみ)

- 湯はりのお湯に銀イオンが入っています。
- 銀イオン発生機能は、止めることができます。

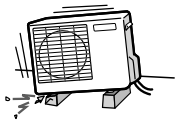
貯湯ユニットの水抜き時は熱湯を直接排水しない

- やけどや排水管破損の原因になります。
- 混合水栓のお湯側からお湯を使いきってから排水してください。

水洗いはしない

- 漏電による火災や感電の原因になります。

ヒートポンプユニットの据付台は傷んだ状態で使わない



- ヒートポンプユニットの落下、転倒やけがの原因になります。

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

- 性能低下や故障の原因になります。

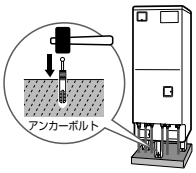
凍結のおそれがあるときは電源を切らない

- 凍結した配管などが破損し水漏れの原因になります。

据え付け後は、次のことを確認する

指　示

- **設置床面が防水処理・排水処理がされていること**
  - 処理がされておらず、水漏れした場合、大きな被害の原因になります。
- **貯湯ユニットは、脚が耐震強化ナットでダブルナット固定されていること**
  - 地震などで、転倒した場合、大きな被害の原因になります。

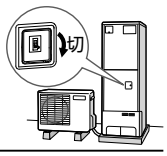


- **凍結防止対策をしていること**
  - 配管が破損して、大きな被害の原因になります。
    ※販売店(工事店)にご確認・ご依頼ください。

混合水栓は水の方から開く

- お湯の方だけ開くと、高温のお湯が出たり飛び散ったりしてやけどの原因になります。

お手入れ時・点検時は、漏電しゃ断器を「切」にする



- 感電・やけど、ファンと接触するなど、けがの原因になります。

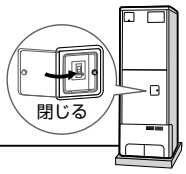
逃し弁が作動することを定期的に確認する

- 貯湯ユニットや配管が破損したり、逃し弁から水が漏れたりすることがあります。

水漏れを点検する

- 日常点検してください。特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。

貯湯ユニットの電源扉と逃し弁扉は閉じ、ねじを締める

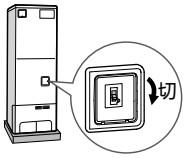


- 感電や故障の原因になります。
- 点検・操作の後はねじを締めてください。

積雪時には除雪する

- 誤動作や故障の原因になります。

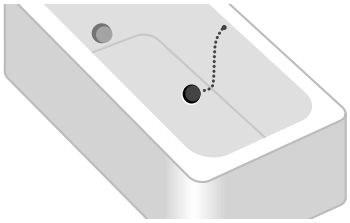
1カ月以上使わないときは、漏電しゃ断器を「切」にして、機器の排水をする



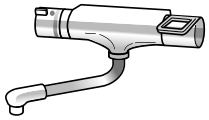
- 水質が変化します。

使用上のお願い

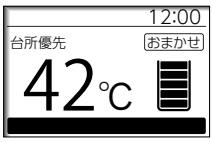
● 湯はりするときは、浴槽の栓をしてください。湯はりができません。



● 逆止弁付の混合水栓をご使用ください。



● 湯はりをするときは、残湯量目盛り表示が3つ以上あることを確認してください。湯ぎれし、湯はりができなくなることがあります。



18ページ『湯量を見る』

浴室リモコン

混合水栓

浴槽循環金具

栓

浴槽

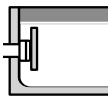
ふた

ヒートポンプユニット

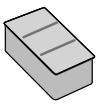
● 次の入浴剤は使わないでください。機器が腐食したり故障したりする原因になります。
- イオウ、酸、アルカリ、塩分、ミルクやミルク成分を含んだもの
- 浴槽に沈殿物（にごり成分）が残るもの
- 生薬（固形のもの）
- 発泡系のもの

● 浴槽内で石けんを使わないでください。機器が腐食したり故障したりする原因になります。

● 浴槽循環金具をふさがないでください。故障の原因になります。



● 入浴後は浴槽にふたをしてください。浴槽には冷めやすいものもあります。



● 浴槽の栓を抜く前に、「ふろ自動運転」を停止してください。
（停止方法は 20ページ）

● 酸、アルカリ系の洗剤は使用しないでください。

● **浴槽やタイルの目地の青い付着物について**

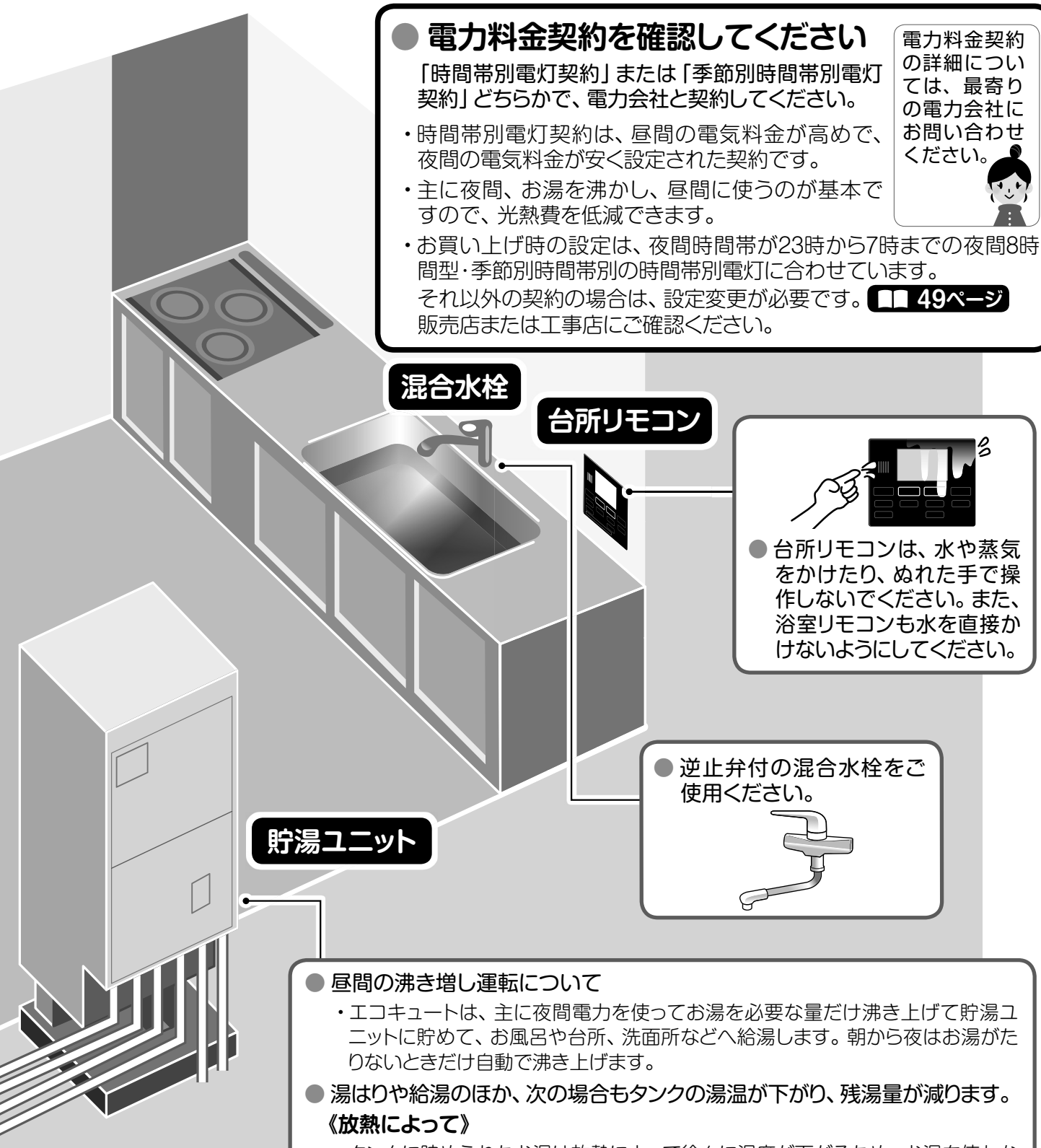
・使用地域の水質や給湯機の銅配管により薄青くなることがあります。これは、水中に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応してできるもので、健康への害はありません。使用時間と共に発生しにくくなりますが、市販の浴室用油汚れ専用洗剤で落とすことができます。
市販の浴室用油汚れ専用洗剤：
速効湯アカ分解（株式会社リンレイ）、マジックリン（花王株式会社）など

● 電力料金契約を確認してください

「時間帯別電灯契約」または「季節別時間帯別電灯契約」どちらかで、電力会社と契約してください。

- 時間帯別電灯契約は、昼間の電気料金が高めで、夜間の電気料金が安く設定された契約です。
- 主に夜間、お湯を沸かし、昼間に使うのが基本ですので、光熱費を低減できます。
- お買い上げ時の設定は、夜間時間帯が23時から7時までの夜間8時間型・季節別時間帯別の時間帯別電灯に合わせています。
  それ以外の契約の場合は、設定変更が必要です。49ページ
  販売店または工事店にご確認ください。

電力料金契約の詳細については、最寄りの電力会社にお問い合わせください。



● 台所リモコンは、水や蒸気をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。また、浴室リモコンも水を直接かけないようにしてください。

● 逆止弁付の混合水栓をご使用ください。

● 昼間の沸き増し運転について

- エコキュートは、主に夜間電力を使ってお湯を必要な量だけ沸き上げて貯湯ユニットに貯めて、お風呂や台所、洗面所などへ給湯します。朝から夜はお湯がたりないときだけ自動で沸き上げます。

● 湯はりや給湯のほか、次の場合もタンクの湯温が下がり、残湯量が減ります。

《放熱によって》

- タンクに貯められたお湯は放熱によって徐々に温度が下がるため、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。

《追いだき・保温によって》

- 追いだきや保温をするときは、浴槽のお湯を循環させて温めます。温めるための熱は、タンクのお湯の熱を使います。

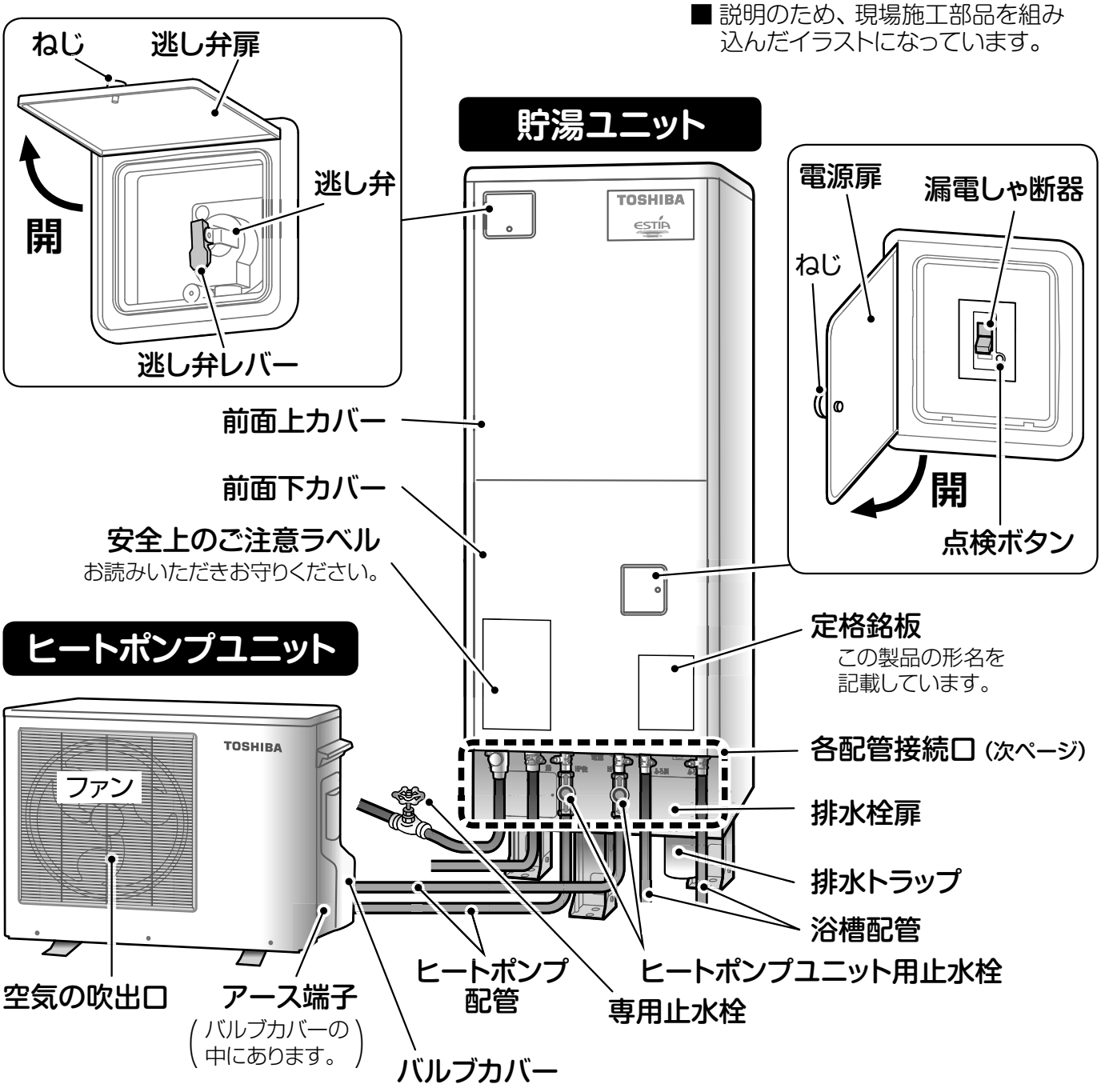
● 沸き上げを行うと排水口から排水されます。これは沸かすときの膨張水で異常ではありません。（370Lの沸き上げで、約10L排水されます）

● ジャグジー・ジェットバスは使用しないでください。
正常な湯はりができません。

各部のなまえとはたらき

貯湯ユニット　ヒートポンプユニット

■ 説明のため、現場施工部品を組み込んだイラストになっています。



脚部カバー（別売部品）を取り付けている場合

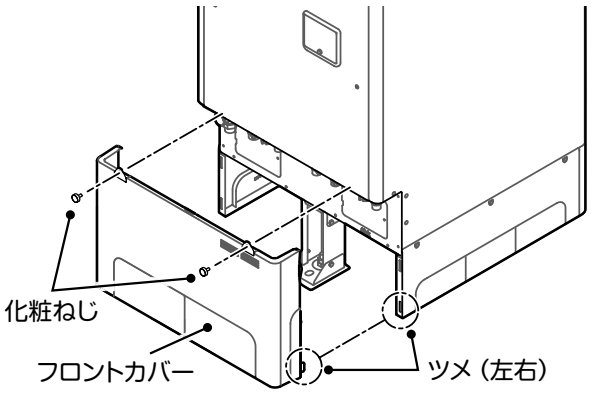
● お手入れや点検時、水抜き動作時などは脚部カバーのフロントカバーをはずさないと作業ができない場合があります。下記手順に従って取りはずしてから行ってください。

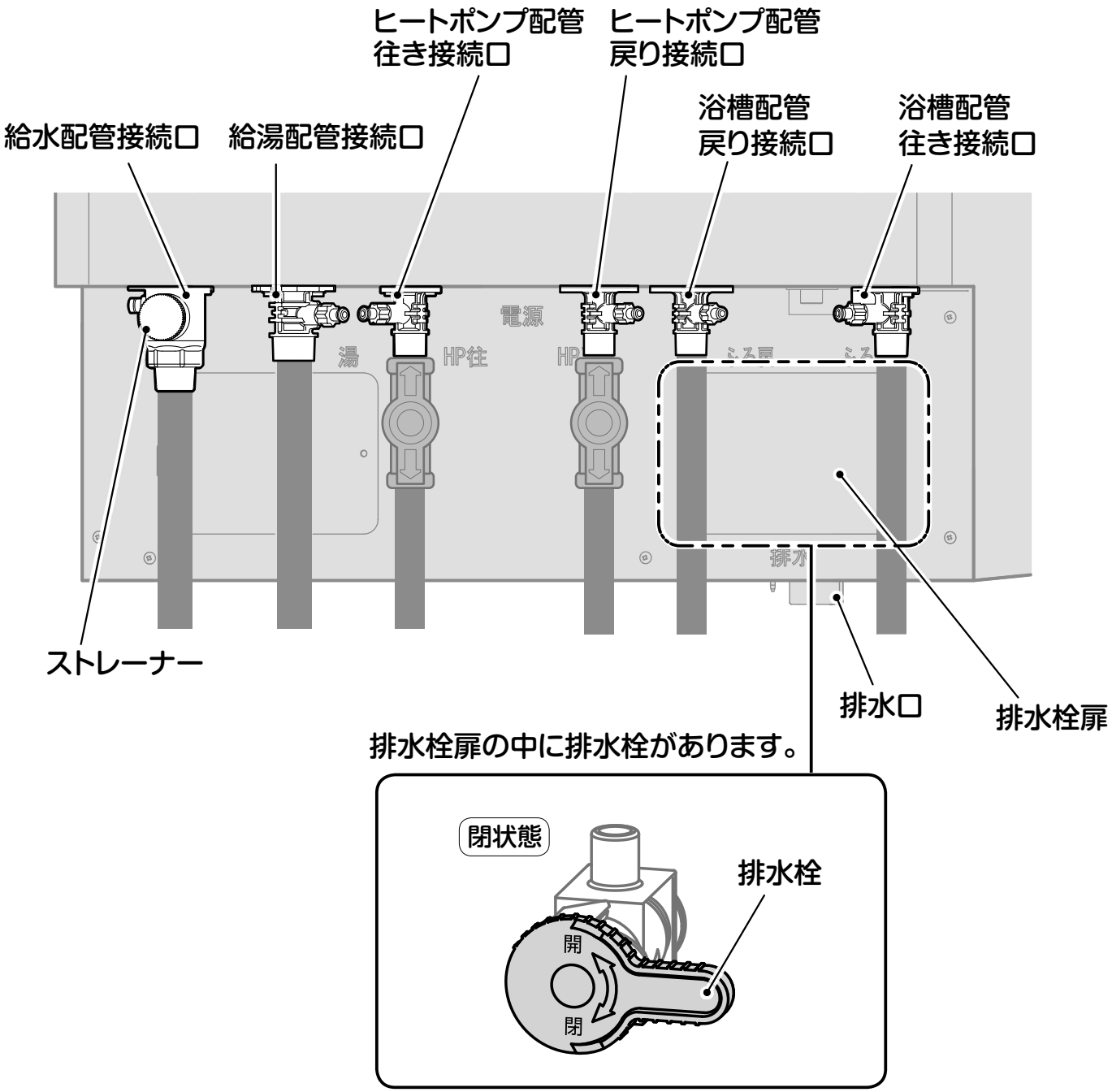
■ 取りはずしかた

化粧ねじ2本をはずし、フロントカバーを手前に引く。

■ 取り付けかた

左右の穴（各1ヵ所）にフロントカバーのツメを合わせ、化粧ねじ2本にて固定する。



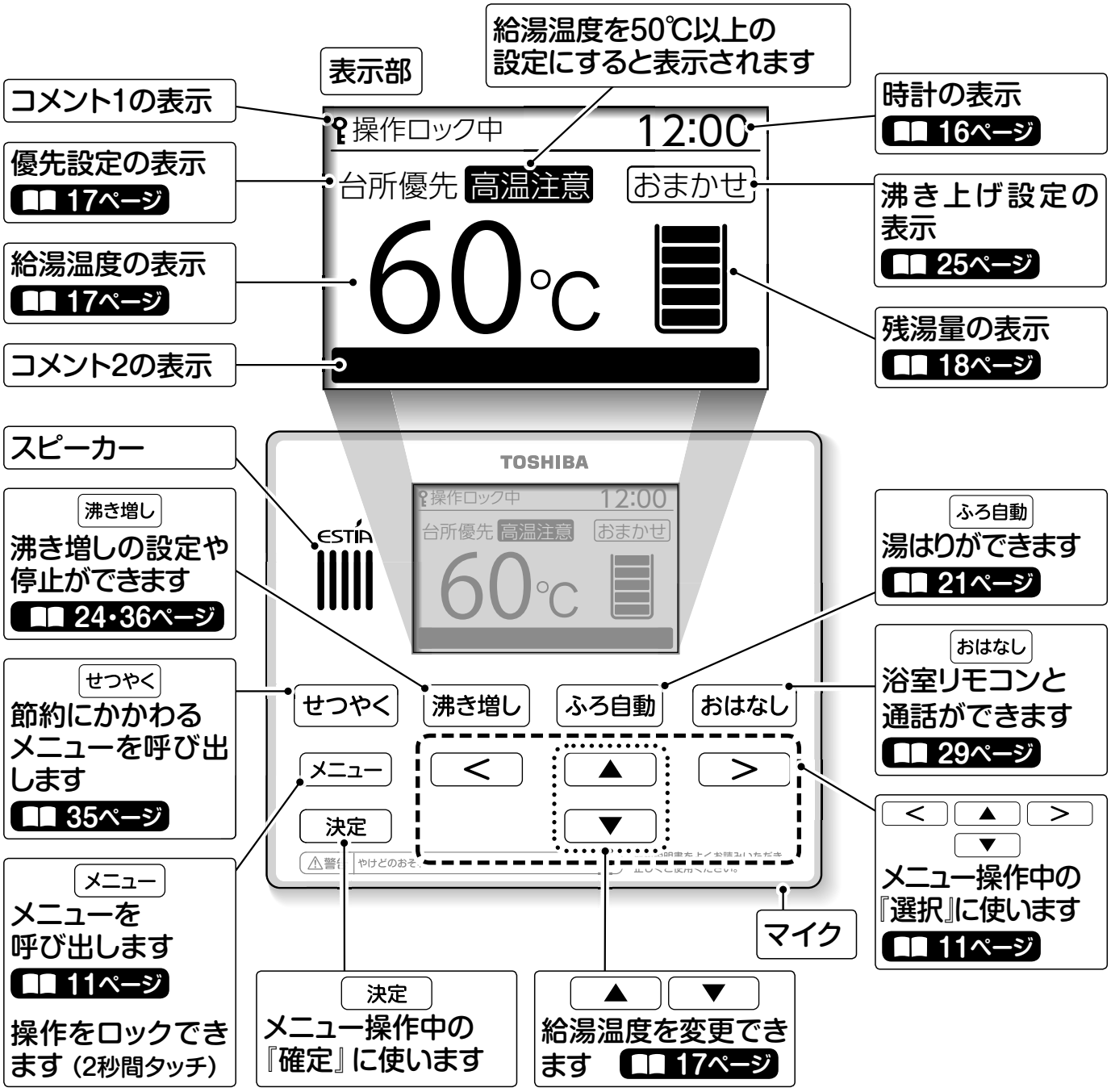

ヒートポンプ配管
往き接続口
ヒートポンプ配管
戻り接続口
浴槽配管
戻り接続口
浴槽配管
往き接続口
給水配管接続口
給湯配管接続口
電源
湯
HP往
HP
排水
ストレーナー
排水口
排水栓扉
排水栓扉の中に排水栓があります。
閉状態
排水栓
開
閉

各部のなまえとはたらき（つづき）

台所リモコン（HWH-RM90F(B)、(S)）

キーが消灯しているときには、メニュー にタッチしてください。

■ 表示内容は、説明のために液晶表示とキー表示を全点灯状態で表示してあります。



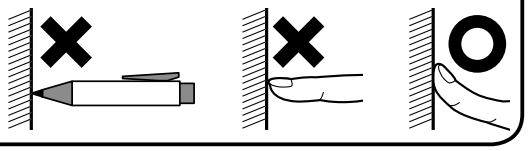
- 台所リモコンは、操作できるキーだけが点灯します。画面下部に表示される『**キー機能**』（次ページ）により、操作してください。
- 一定時間操作がないとキーとバックライトが消灯します。（初期設定：1分）
  消灯時間は、『**設定のメニュー**』で変更できます。32ページ
- コメント1とコメント2は、機器の状態や設定の内容などを表示します。
  状況に合わせ、ご確認ください。
- リモコンの保護シートは必ずはがしてご使用ください。
- 本文中のイラストは表示例であり、実際と異なることがあります。

◆キー操作のロック（いたずら防止）

メニュー に2秒間タッチすると、『**操作のロック**』ができます。
解除するときも、2秒間タッチします。

台所リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

● キーの中央を触ると操作できます。
（液晶表示部にタッチしても操作できません。）

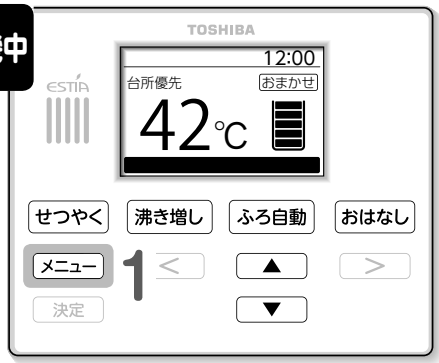


こちらの操作は他のページにもでてきますので、ぜひ覚えてください。

■ 台所リモコンは、『**機能のメニュー**』と『**設定のメニュー**』を持っています。

機能のメニューの表示のさせかた

待機中

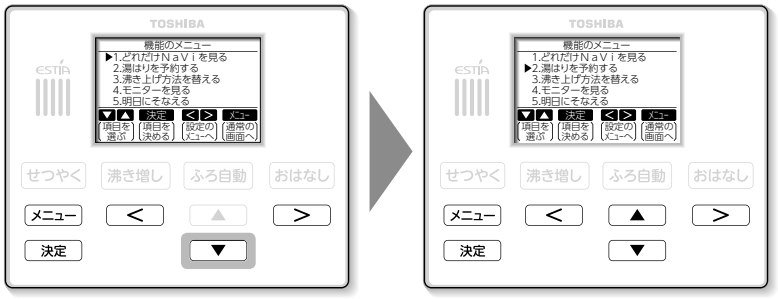


1 メニュー **にタッチする**

●『**機能のメニュー**』を表示します。

《上図のキーが点灯していないときは、メニュー にタッチすると点灯します》

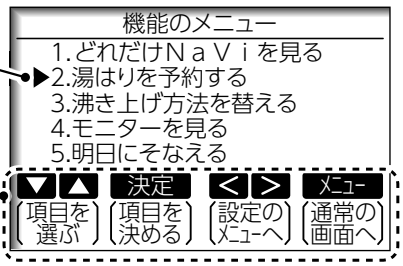
■ 機能のメニューは、給湯機の動きを見たりします。



▼ ▲ **で項目を選ぶ**

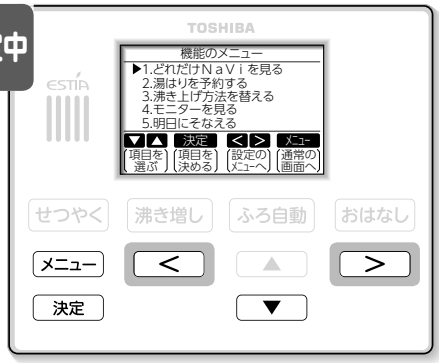
項目を選択されていることを示しています。

『キー機能』の説明です。選択されたメニューによりキー機能が異なるため、その説明をしています。操作の参考にしてください。



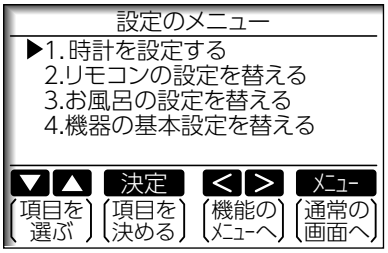
設定のメニューの表示のさせかた

設定中

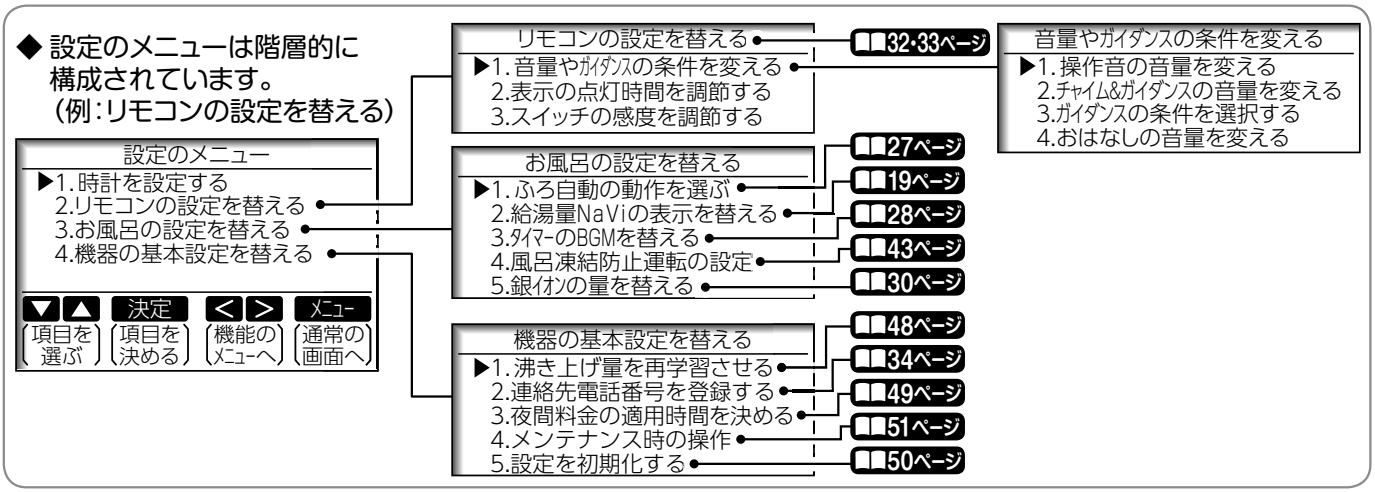


（機能メニューの続きから）

＜ **または** ＞ **にタッチします**



◆ 設定のメニューは階層的に構成されています。
（例：リモコンの設定を替える）

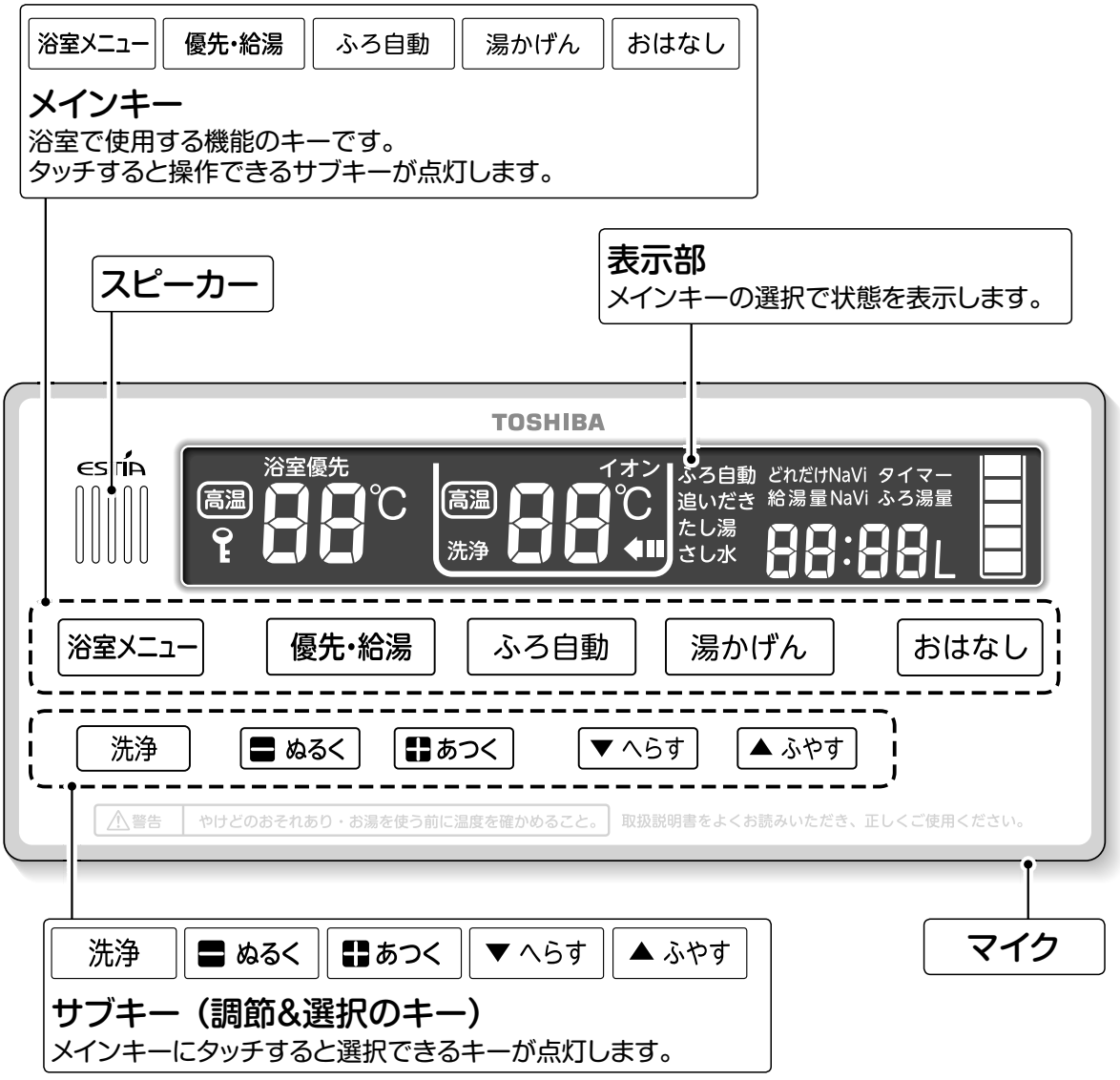


各部のなまえとはたらき（つづき）

浴室リモコン（HWH-RB90F(B)、(S)）

キーが消灯しているときには、浴室メニュー にタッチしてください。

■ 表示内容は、説明のために表示部とキー表示を全点灯状態で表示してあります。



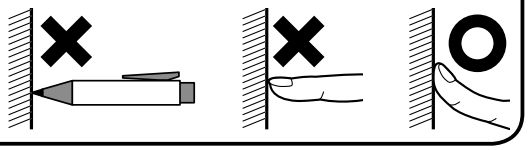
- 浴室リモコンは、操作できるキーだけが点灯します。
- 一定時間操作しないと、キーと表示が消灯します。（初期設定：1分）
  消灯時間は、『**設定のメニュー**』で変更できます。32ページ
- 浴室リモコンに『**優先設定**』表示がないと、優先・給湯 は白色で点灯し ぬるく あつく は点灯せず、（画面の【**浴室優先**】も消灯）、浴室リモコンでの給湯温度変更ができません。
- 優先・給湯 を2秒間タッチし、『**優先設定**』を切り替えてください。
- リモコンの保護シートは必ずはがしてご使用ください。

◆キー操作のロック（いたずら防止）

浴室メニュー に2秒間タッチすると、『**操作のロック**』ができます。
解除するときも、2秒間タッチします。

浴室リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

● キーの中央を触ると操作できます。
（液晶表示部にタッチしても操作できません。）



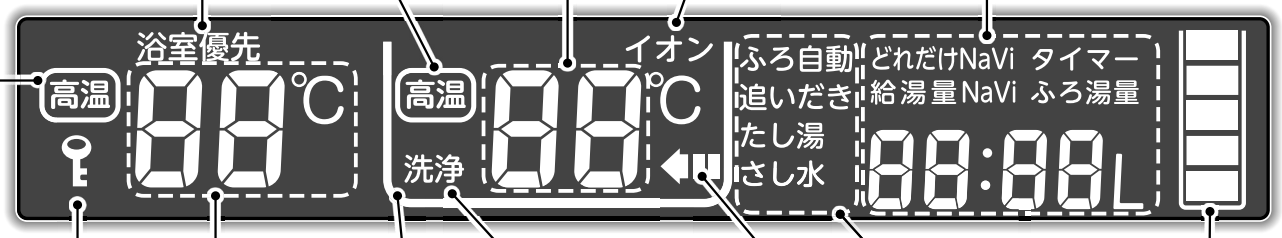
湯かげん高温設定時の警告表示
22ページ

湯はり温度の表示
20ページ

イオンの表示
銀イオンが出ているときに点灯します
20・31ページ

優先設定の表示
17ページ

デジタル&状態表示
デジタル表示部が何を表示しているかを表示します。無点灯は時計表示を示します。



給湯温度の表示
17ページ

残湯量の表示
18ページ

キー操作ロックの表示
12ページ

浴槽マーク

洗浄の表示
39ページ

湯はり動作の表示
20・22ページ

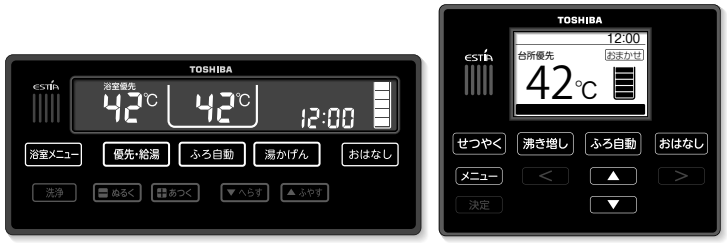
循環&出湯の表示
浴槽循環金具からお湯が出ていたり循環動作のときに点灯します。

給湯温度を50℃以上の設定にすると表示されます

この取扱説明書表記について

この取扱説明書での使用する記号の意味を説明します。

◆ [　　] は、キーを示します。
◆『　』は、メニューの項目や設定を示します。
◆【　】は、表示の内容を示します。
◆操作の手順は、**1**・**2**・**3** などの番号で表しています。



操作できるキーだけが点灯します。

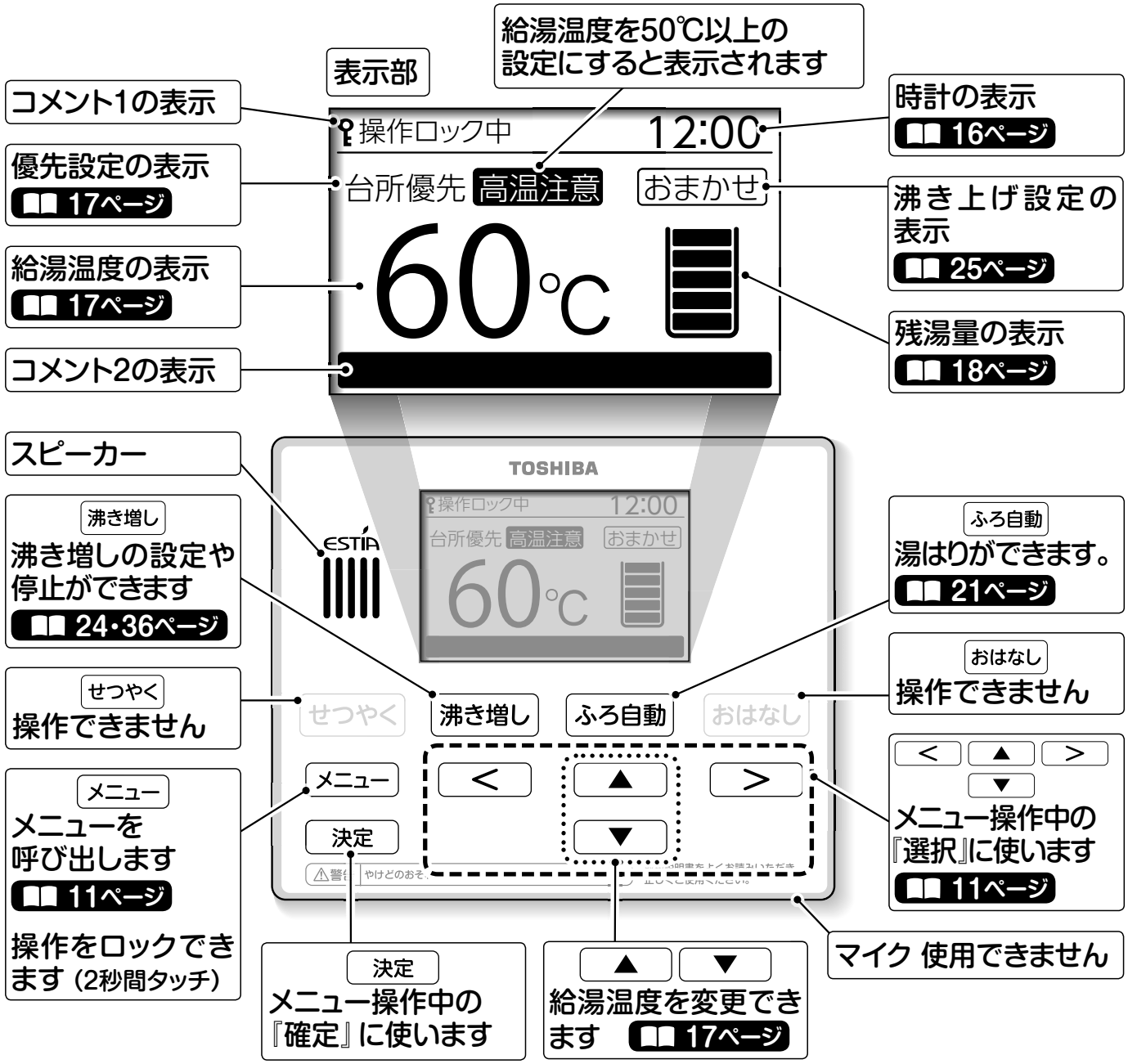
各部のなまえとはたらき（つづき）

台所リモコン（増設）（HWH-RM90F(B)、(S)）

※台所リモコンを1つ増設すると、サブリモコンとしてご使用できますが、台所リモコンと使用できる機能が違います。

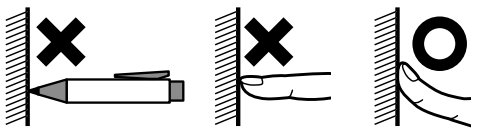
キーが消灯しているときには、[メニュー]にタッチしてください。

■ 表示内容は、説明のために液晶表示とキー表示を全点灯状態で表示してあります。



台所リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

● キーの中央を触ると操作できます。
（液晶表示部にタッチしても操作できません。）



● [せつやく]と[おはなし]は操作できません。
● 『**機能のメニュー**』は**【どれだけNaViを見る】【モニターを見る】**の2項目です。
● 『**設定のメニュー**』は**【時計を設定する】**の1項目です。

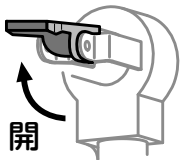
◆キー操作のロック（いたずら防止）

[メニュー]に2秒間タッチすると、『**操作のロック**』ができます。解除するときも、2秒間タッチします。

● 増設リモコンと台所リモコンの設定内容は同じです。
● 本文中のイラストは表示例であり、実際と異なることがあります。

貯湯ユニットへの水の貯めかた

1 逃し弁扉を開け、逃し弁レバーを上げて、逃し弁を開ける



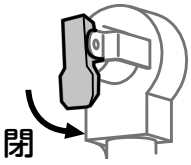
- 逃し弁を開けないと、確実に給水できません。

2 専用止水栓とヒートポンプユニット用止水栓を開ける

3 排水トラップから、水が出ることを確認する

- 20～40 分かかります。
- 見えないときは、水の音で確認してください。

4 逃し弁レバーを戻し、逃し弁扉を閉じる

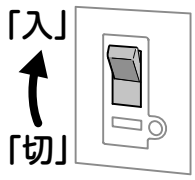


- 逃し弁レバーを戻すと、水も止まります。
- 逃し弁扉を閉じ、ねじを確実に締めます。

5 混合水栓のお湯側を開く（下図）

- 水が連続的に出ることを確認します。
- 確認できたら、混合水栓を閉じます。

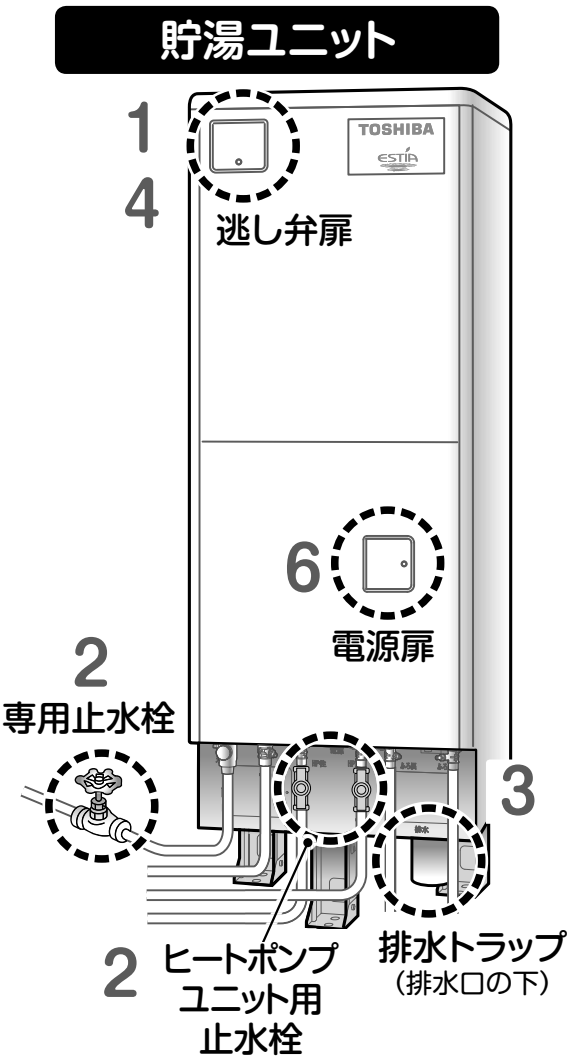
6 漏電しゃ断器のレバーを「入」にする



- ポンプが約３分間運転します。
- 電源扉を閉じ、ねじを確実に締めてください。

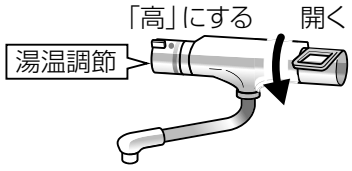
7 リモコンの時計を合わせる

- 16ページ の手順で合わせてください。

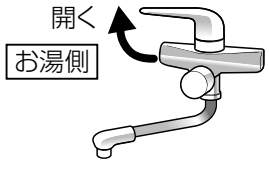


混合水栓のお湯側の開きかたの例

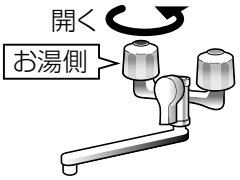
- お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。



■ サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして開く。



■ シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く。

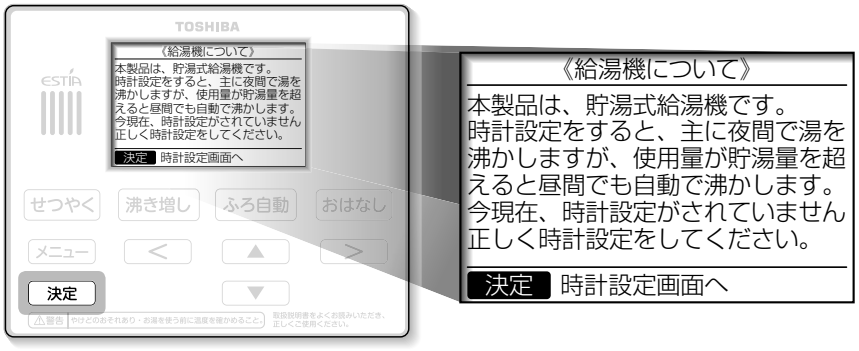


■ 2ハンドルタイプ
お湯側だけを開く。

専用止水栓、ヒートポンプユニット用止水栓の場所がわからないときは、販売店または工事店にお問い合わせください。

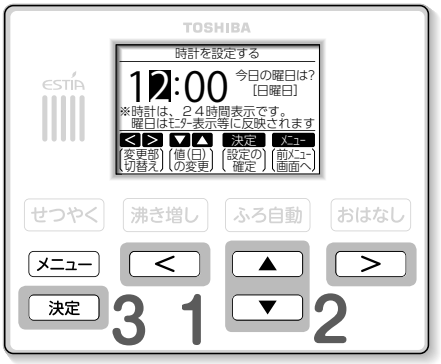
時計を合わせる

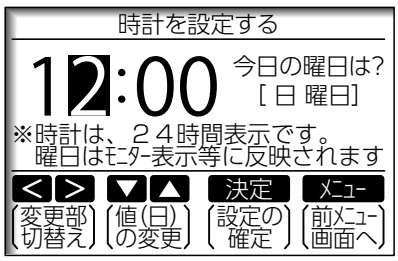
■ 初めて貯湯ユニットの漏電しゃ断器を『入』にすると、下図の説明画面が台所リモコンに表示されます。
■ 長時間の停電後でも、この画面が表示されます。
■ 台所リモコンは、『**機能のメニュー**』と『**設定のメニュー**』を持っています。
■ 時計の設定は、台所リモコンで行います。



決定 に、タッチする。

台所リモコン





1 時計の設定を変更する場合は
メニュー ▶『設定のメニュー』▶
『時計を設定する』を選択してこの画面を表示させてください。

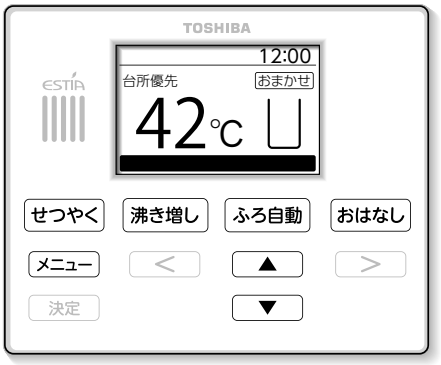
《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

2 < > で、
変更する場所を選択する
●変更できる場所が、反転表示します。

3 ▼ ▲ で、時間や曜日を変える
●**1**と**2**を繰り返し、時間を合わせます。

4 決定 にタッチする
《 決定 にタッチしないと確定しません》

待機中



● 時計の設定は台所リモコン（増設）でもできます。
● 貯湯ユニットに給水後初めて時計を合わせると、タンクが全量になるまで自動で沸き増し（沸き上げ）を行います。
沸き上げを止めたい場合は、36ページの『**学習自動沸き増しの止めかた**』の手順で止めてください。
● **時計を正しく合わせないと、割高な電気料金になる場合があります。**
● 月に1度は、時計を確認し、ズレている場合は修正してください。（2時間以上の停電で、時計がリセットされます）
● 曜日の設定は、後述の『**モニター**』や『**週間予約**』のときに必要です。

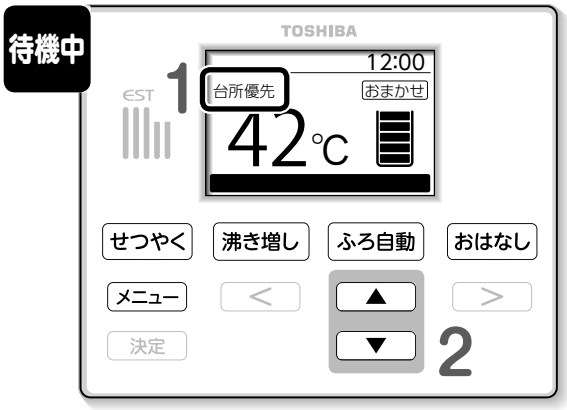
お湯を使う

優先設定について

■『**優先**』は、お湯を使う人の安全を守るため、お湯を使う場所で（台所・浴室）のみ湯温を変更するための機能です。必ず、お湯を使用する場所のリモコンに**【優先】**表示をさせてからご使用ください。たとえば、シャワーの使用中に台所リモコンで温度を変更されると、やけどなどの原因になります。
『優先』は、浴室リモコンの 優先・給湯 に2秒間タッチすると切り替えられます。

■ お湯の使用中は、『**優先**』を切り替えられません。

台所でお湯を使いたいときは　台所リモコン



1 【台所優先】であることを確認する

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

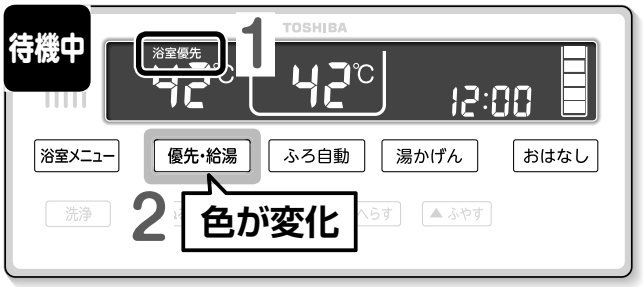
- 優先がないと、温度設定は変更できません。（▼ ▲ は点灯しません。）
- 浴室リモコンで、優先を切り替えると、以前に台所リモコンで設定した温度になります。

2 ▼ ▲ で、温度を変える

- 27～48、50、55、60℃が設定できます。
- 48℃が表示されたら、いったん放し、▲ キーをさらに2秒タッチすると50、55、60℃まで設定を上げることができ、高温注意 が表示されます。

《浴室リモコンも同じ温度になります。》

浴室でお湯を使いたいときは　浴室リモコン



1 浴室でお湯を使うときは、必ず、【浴室優先】にする

《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》

- 優先があると、優先・給湯 は色が変わってお知らせします。
- 優先がないときは、優先・給湯 に2秒間タッチします。
- 優先を切り替えないと台所リモコンで高温に設定され、熱いお湯が出る場合があります。
- 優先を切り替えると、以前に浴室リモコンで設定した温度になります。

2 温度を変えたいときは、優先・給湯 にタッチする

- 優先がないと、ぬるく あつく は点灯しません。

3 ぬるく あつく で温度を変える

- 27～48、50、55、60℃が設定できます。
  48℃が表示されたら、いったん放し、あつく キーをさらに2秒タッチすると50、55、60℃まで設定を上げることができ、高温 が表示されます。

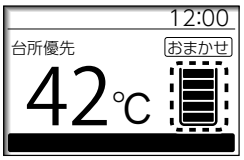
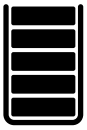
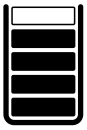
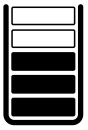
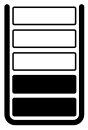
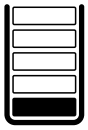
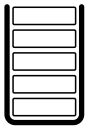
《台所リモコンも同じ温度になります。》

- リモコンの給湯温度表示は目安です。配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。タンク内の温度が低い場合は、設定温度にならないことがあります。
- 給湯中は、50℃以上への変更はできません。
- 50℃以上に設定すると、両方のリモコンに高温をお知らせする表示がされ、浴室リモコンの表示は消灯しません。
- サーモスタットタイプ（自動温度調節機能付）の混合水栓の場合、混合水栓で設定した温度にならない場合があります。そのような場合は、リモコンの設定温度を混合水栓の温度より10℃以上高く設定してください。
- お湯の出かたが弱い場合は、リモコンの設定温度を60℃に設定し、混合水栓で水を多く混ぜてご使用ください。その際には、熱いお湯でやけどをしないように十分にご注意ください。

湯量を見る

貯湯ユニットの残湯量

台所・浴室の両リモコンともに、5つの残湯量目盛りで残湯量を表示しています。

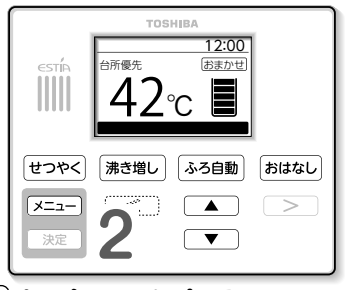
	リモコン表示部	残湯量表示					
		全量	4/5	3/5	2/5	1/5	1/5未満
台所リモコン							
浴室リモコン							

- お湯を使っていなくても、放熱でタンク内の湯温が下がると目盛りが減ります。
- 必要な量だけ沸かすため、『全量』まで表示しない場合があります。
- お湯の使われかたで、いくつかの目盛りが同時に消えることがあります。

使えるお湯の量（どれだけNaVi）

現在使える湯量の目安が表示されます。

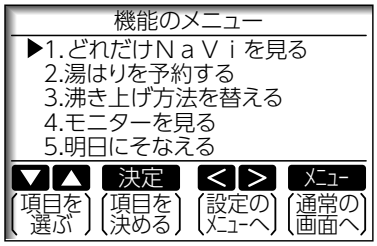
台所リモコン



1 メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

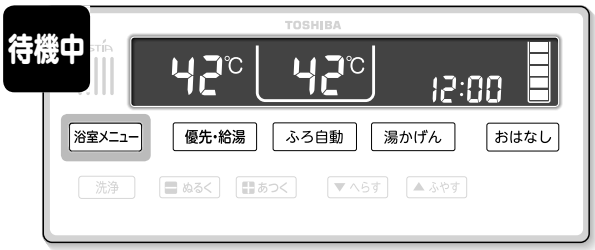
※メニュー にタッチすると 決定 キーが表示されます。



2 決定 にタッチする

- ▼ ▲ で温度を変えると、その温度で使えるお湯の量を表示します。
- 給湯可能量が999Lを超える場合の表示は、『999L』(最大表示)を示します。

浴室リモコン



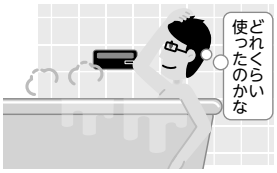
1 浴室メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》

《ガイダンスをもう一度聞く場合は、再度 浴室メニュー にタッチする》

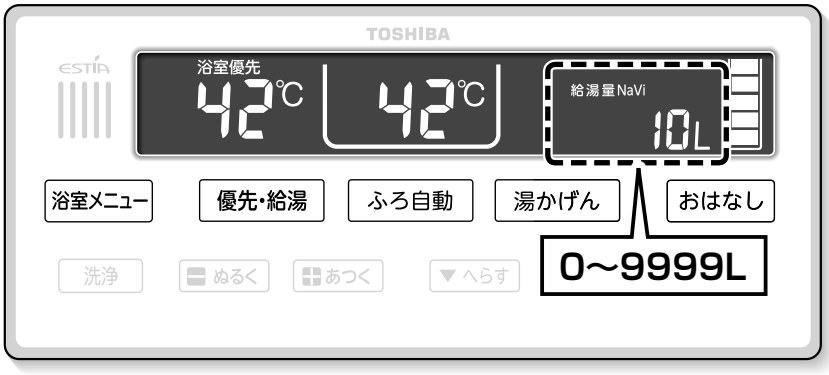
- ぬるく あつく で湯温を変えると、その温度で使えるお湯の量を表示します。
- 浴室メニュー で、通常の表示に戻ります。

- 表示される量は目安です。
- 残湯の温度によっては、温度設定を変えると『0L』表示する場合があります。
- 表示される合計使用量は42℃換算値です。



使っているお湯の量（給湯量NaVi）

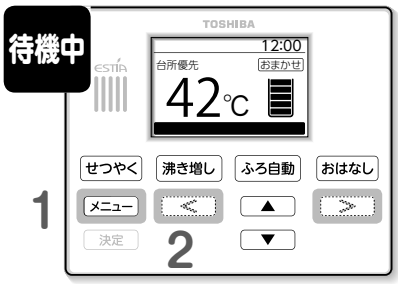
現在使っているお湯の量が表示されます。



- お湯を使用すると、デジタル表示部に使用中の湯量を表示します。（42℃換算・1L刻み）
- 約10Lごとに“ピッ”と音がでます。
- 給湯を止めても1分間表示し、通常表示に戻ります。
- 5分以内に再度お湯を使うと積算して表示します。
- 台所で使用したときも、合算されます。
- 表示（音）をやめることもできます。

給湯量NaViの表示（音）をやめるには

台所リモコン　設定のメニュー▶3.お風呂の設定を替える▶2.給湯量NaViの表示を替える

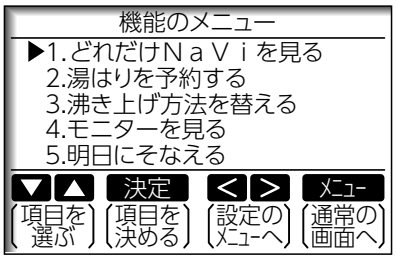


1

メニュー にタッチし、『**機能のメニュー**』を表示させる

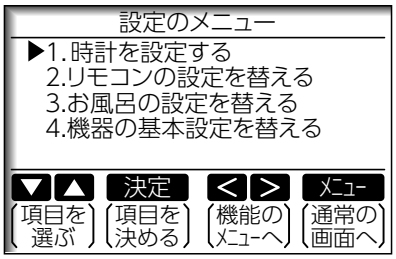
《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。



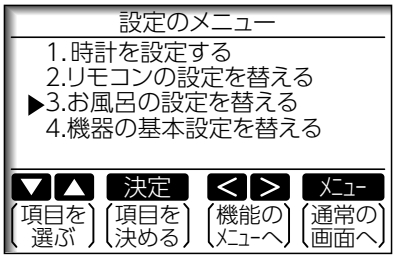
2

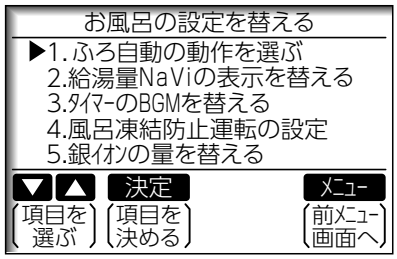
＞ で、『**設定のメニュー**』を表示させる

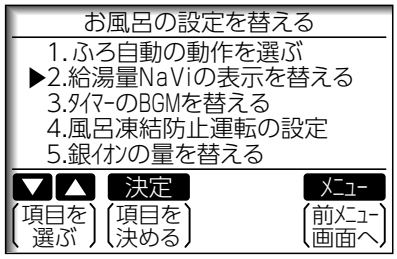


3

▼ ▲ で、『**3.お風呂の設定を替える**』を選択し、決定 にタッチする

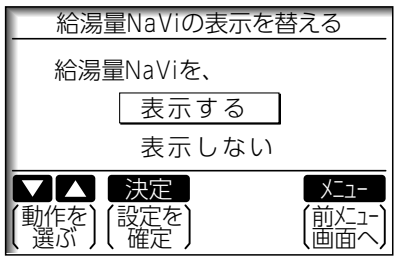






4

▼ ▲ で、『**2.給湯量NaViの表示を替える**』を選択し、決定 にタッチする



5

▼ ▲ で、**【表示しない】**を選択し、決定 にタッチする

《決定 にタッチしないと確定しません》

お風呂に湯はりする

■ 残湯量目盛りが3つ以上あることを確認してください。湯はり量によっては湯はりが完了しない場合があります。

■ 残湯量がないと設定できません。

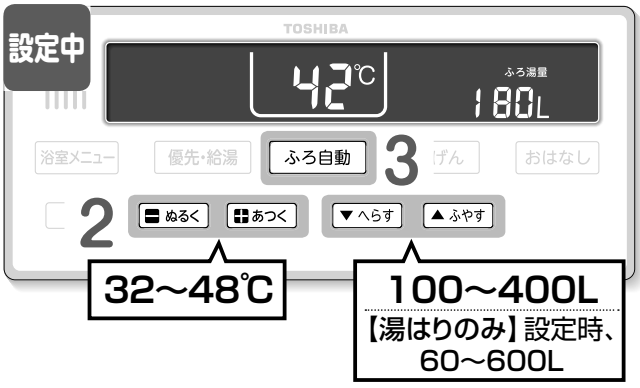
■ 浴槽をからにして、浴槽の栓とふたをしてください。

浴室リモコン

1 ふろ自動 にタッチする

《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》

《ガイダンスをもう一度聞く場合は、約10秒待ち、前の表示に戻ってから再度 ふろ自動 にタッチする》



2 ぬるく あつく で湯はり温度を、▼へらす ▲ふやす で湯はり量を設定する

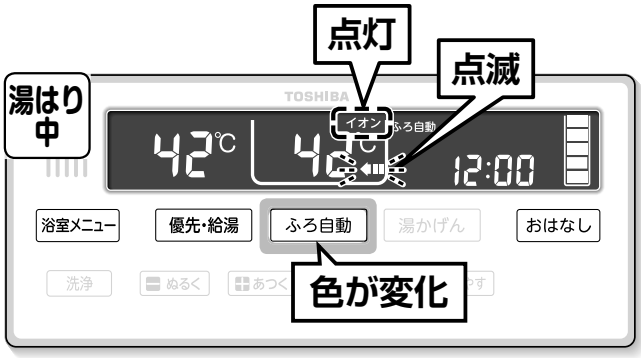
- 1.25坪のユニットバスで、180Lが目安です。
- 浴槽循環金具より5cm以上の水位になるように、湯はり量を設定します。

《表示の内容で湯はりする場合は、この手順は不要です》

3 ふろ自動 にタッチする

《湯はり開始のガイダンスが流れ、湯はりを開始します》

※『銀イオンの湯』が設定されているときは、湯はり開始後しばらくすると イオン が点灯します。
（銀イオン発生機能付機種のみ）



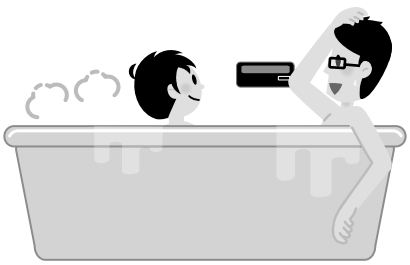
湯はりが終わるまでは…

- 混合水栓やシャワーからお湯をたさないでください。お湯があふれることがあります。
- 入浴やお湯をくみ出さないでください。正常に湯はりできません。

湯はりが終わると…

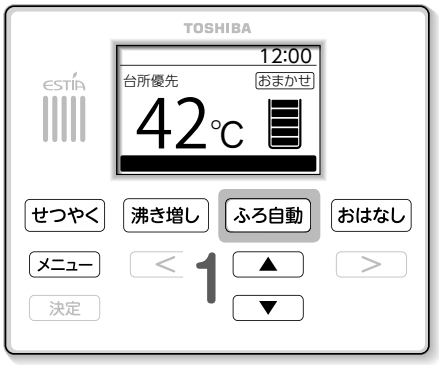
- 湯はり完了のガイダンスが流れ、自動で保温とたし湯運転を行います。27ページ

途中で止めるときは…
ふろ自動 に、2回タッチする



台所リモコン

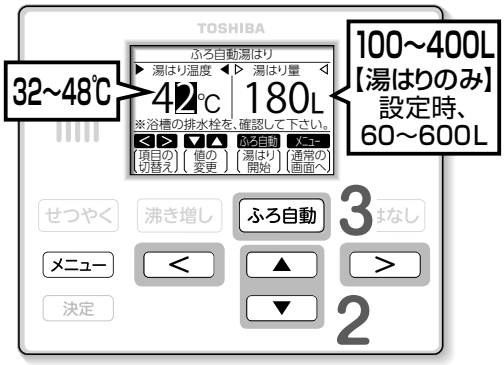
待機中



1 ふろ自動 にタッチする

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

設定中



2 ＜ ＞ で、項目を選択し ▼ ▲ で、値を設定する

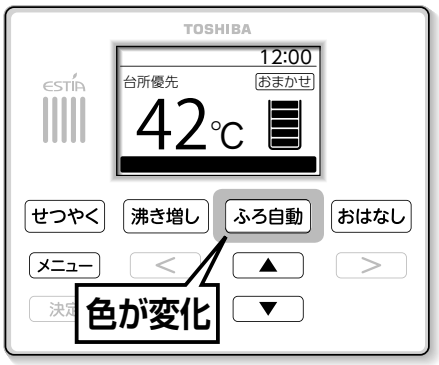
《表示の内容で湯はりする場合は、この手順は不要です》

3 ふろ自動 にタッチする

《湯はり開始のガイダンスが流れ、湯はりを開始します》

湯はり中

保温中



湯はりが終わるまでは…

- 混合水栓やシャワーからお湯をたさないでください。お湯があふれることがあります。
- 入浴やお湯をくみ出さないでください。正常に湯はりできません。

湯はりが終わると…

- 湯はり完了のガイダンスが流れ、自動で保温とたし湯運転を行います。27ページ

途中で止めるときは…

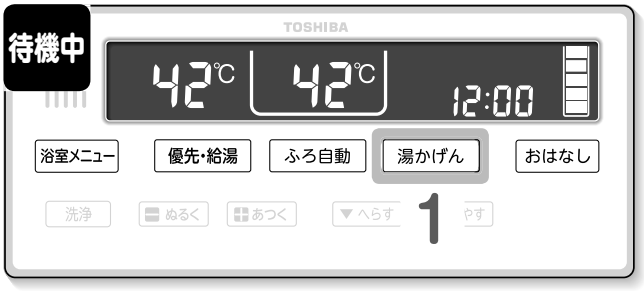
ふろ自動 に、2回タッチする

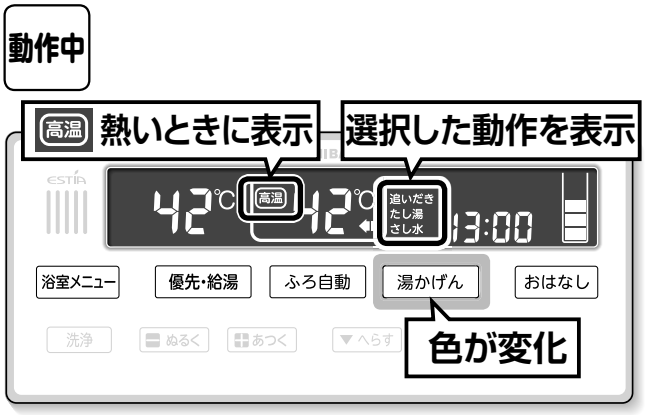
- ふろ自動運転の湯はり温度・量は目安です。浴槽や配管ならびに季節などにより温度は変わりますので、状況に合わせ設定してください。
- ふろ自動運転（湯はり・保温&たし湯）の運転時間は、お買い上げ時の設定で『**2時間**』です。
- ふろ自動運転は、お好みに合わせ設定できます。27ページ の手順で行います。
- ふろ自動運転中に5分以上の停電があると運転を停止します。
- 湯はり中の温度や量の変更はできません。湯はり完了後は、湯温のみ変更できます。
- 浴槽のお湯を排水する場合は、必ずふろ自動運転を止めてください。エラーが発生します。
- 浴槽循環金具より低い量で湯はりを行いたい場合は、27ページ の手順で『**湯はりのみ**』に設定してください。
- 残り湯が浴槽循環金具より上にある場合はふろ自動運転で温めなおしができますが、残り湯が浴槽循環金具より下にあるときはお湯があふれる場合があります。残り湯をすててから湯はりを行ってください。
- 沸き上げ設定が『**おまかせ**』25ページ のときには、浴槽にぬるい残り湯があると湯はりが完了しません。エラーが発生します。

湯かげんを調節する

■ 追いだきやたし湯はタンクの熱を使うため、タンク内の温度が下がり、残湯量が減ります。残湯量にご注意ください。
■ 残り湯を追いだきするよりも、毎日湯はりする方が機器の効率は上がります。
■ 追いだきや高温たし湯は、浴槽循環金具から高温のお湯が出ます。浴槽循環金具から離れてください。
■ 湯はり中は設定できません。また、残湯量がないと設定できません。

浴室リモコン





1 湯かげん にタッチする

《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》
《ガイダンスをもう一度聞く場合は、再度 湯かげん にタッチする》

2 お好みの動作を選ぶ

◆ あつくするには …… 高温たし湯
➡ あつく にタッチする
● 60℃のお湯を、約20Lたします。

◆ あつくするには …… 追いだき
➡ あつく に2秒間タッチする
● 設定温度まで上げます。

◆ お湯をふやすには …… たし湯
➡ ふやす にタッチする
● 設定温度のお湯を約20Lたします。

◆ たくさんお湯をふやすには 2倍たし湯
➡ ふやす に2秒間タッチする
● 設定温度のお湯を約40Lたします。

◆ ぬるくするには …… さし水
➡ ぬるく にタッチする
● 設定温度より1℃下げます。

途中で止めるときは…
湯かげん にタッチしてから、
選んだキーにタッチ

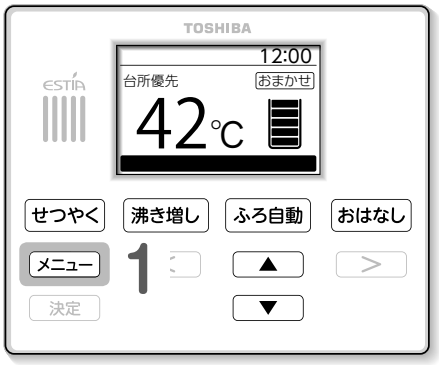
- 浴槽の温度を上げるためにはタンク内のお湯の熱を使います。残湯量が少ない場合はお好みの温度になるまでに時間がかかります。心配な場合は、『**沸き増し設定**』の『**少量追加**』沸き増し **24ページ** を行ってから操作してください。
- 高温たし湯は、残湯の温度が低い場合は60℃のお湯が出ない場合があります。
- 追いだきは、残湯の温度が低い場合は設定の温度になるまでに時間がかかります。
- 湯はり量が多いと、高温たし湯・たし湯・2倍たし湯・さし水操作でお湯があふれる場合がありますので、ご注意ください。
- ふろ自動運転中に《**追いだき**》をすると、設定温度より1℃上げます。
- 『銀イオンの湯』が設定されているときは、たし湯中、2倍たし湯中に イオン が点灯します。
（銀イオン発生機能付機種のみ）

明日のために多めにお湯を沸かす

■ 明日、お湯を多く使うことがわかっている場合、夜間に多めに沸かす設定ができます。

台所リモコン 機能のメニュー ▶ 5.明日にそなえる

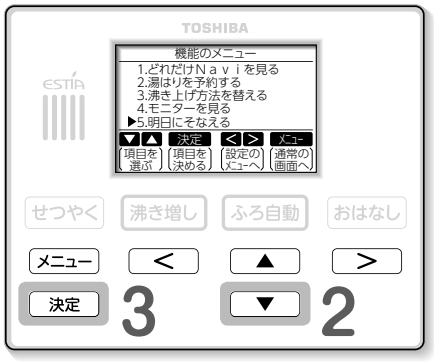
待機中



1 メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

設定中



2 ▼ ▲ で、
『5.明日にそなえる』を選択する

3 決定 にタッチする

設定中

4 ▼ ▲ で、『する』を選択する

5 決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

止めたいときは…

上記の1～5操作で、
4のときに『しない』を選択する

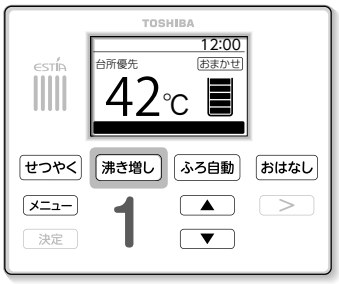
- この設定は、一晩だけの設定です。必要なときに設定してください。
- この設定を行うと、夜間に最高温度で最大量を沸かします。電気料金が普段より多くかかります。
- 夜間時間帯前に設定してください。

沸き増しのしかた【昼間の運転】

■ いつもより多くお湯を使う場合に設定すると湯ぎれを防ぐこともできます。
■ 沸き増しは、昼間の電力を使用しお湯を沸かします。残湯量を確認し必要に応じて設定してください。
■ 沸き上げの運転停止が設定されている場合は、沸き増し設定ができません。37ページ

台所リモコン

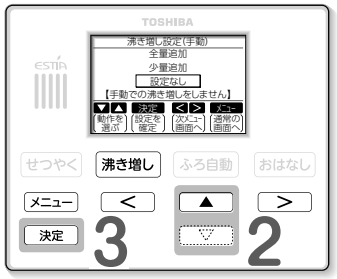
待機中



1 沸き増し にタッチする

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

設定中



2 ▼ ▲ で設定を選ぶ

◆ 少し増やすとき … **少量追加**

42℃のお湯を約70L（冬季）～150L（夏季）使えるように沸かします。

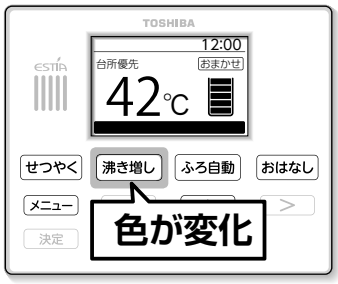
◆ 多く増やすとき … **全量追加**

お湯が減る（残湯量表示が4/5以下）と全量になるまで沸かします。

3 決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

動作中



途中で止めるときは…
1、2の操作で、《設定なし》を選択し、決定 にタッチする

浴室リモコン

待機中

1 浴室メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》

《ガイダンスをもう一度聞く場合は、再度 浴室メニュー にタッチする》

設定中

2 ▲ ふやす にタッチする

《『少量追加』沸き増しが設定されます》

動作中

途中で止めるときは…
1、2の操作を繰り返す

- 『少量追加』設定は、沸き増しが完了すると自動で解除されます。
- 『全量追加』設定は、夜間時間帯までは何度でも沸き増ししますが、夜間時間帯に自動で解除されます。
- 夜間時間帯になると沸き増しの途中でも自動で解除されます。
- 夜間時間帯での設定は、翌朝からの沸き増しになります。
- 浴室リモコンでは『全量追加』設定ができません。

沸き上げのしかた【夜間の運転】

■ 沸き上げには、『**おまかせ**』と『**おおめ**』の2モードがあります。

■『**おまかせ**』は、経済性を優先した学習沸き上げです。
『**おおめ**』は、使い勝手を優先した学習沸き上げです。『**おまかせ**』よりも湯量を多く、湯温を高く沸き上げます。
ご家庭のお湯の使用量に合わせて選択してください。

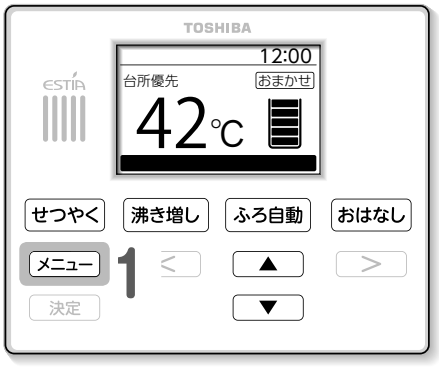
おまかせモード **節約・省エネ**（まずは、このモードで!）

おおめモード **使い勝手優先**（お湯がたりないときはこのモード）

●毎日使われるお湯の使用量を学習し沸き上げ温度と量を自動で決めます。

台所リモコン 機能のメニュー ▶ 3.沸き上げ方法を替える

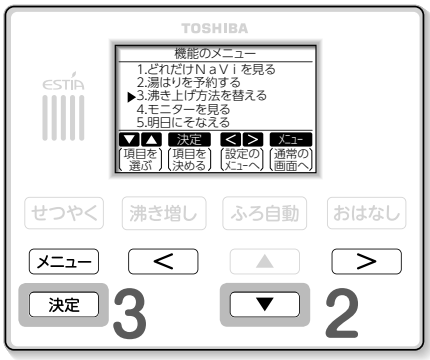
待機中



1 メニュー **にタッチする**

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

設定中

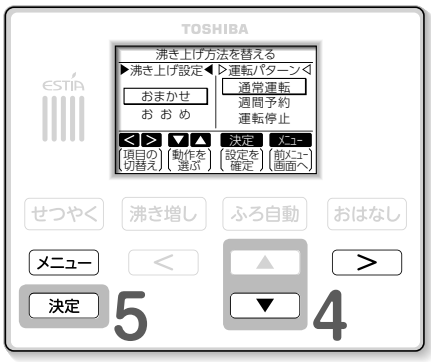


2 ▼ ▲ **で、**
『3.沸き上げ方法を替える』を選択する

3 決定 **にタッチする**

《 決定 にタッチしないと確定しません》

設定中



4 ▼ ▲ **で、**
お好みのモードを選ぶ

5 決定 **にタッチする**

《 決定 にタッチしないと確定しません》

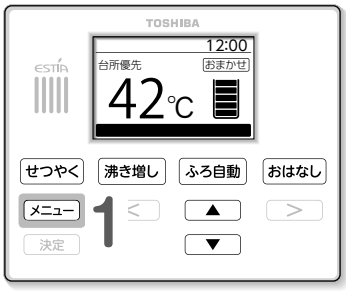
- **お買い上げ時の設定は、『おまかせ』設定です。**
- お湯の必要量を学習するには一週間が必要です。学習期間中は全量に沸き上げますが、学習後は必要量のみ沸き上げます。
- お湯の必要量によっては、残湯量目盛りは『**全量**』表示しない場合があります。
- 外気温が低いときは、沸き上げの運転音が大きくなることがあります。
- 冬場の水温が低いときや、沸き上げ中に停電があったときは、昼間の自動沸き増し時間が長くなる場合があります。

湯はりの予約をする

■ 湯はりを予約すると、設定時間までに湯はりを完了させます。
■ 予約を設定する前に、リモコンの時計があっていることを確認してください。
■ 予約設定をする場合は、浴槽をからにして、浴槽の栓とふたをしてください。

台所リモコン 機能のメニュー ▶ 2.湯はりを予約する

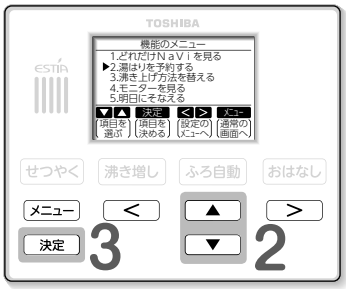
待機中



1 メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

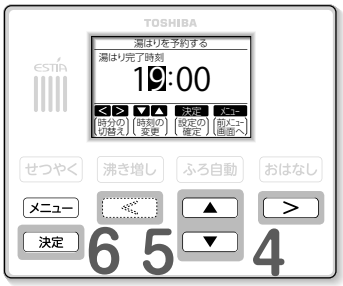
設定中



2 ▼ ▲ で、『2.湯はりを予約する』を選択する

3 決定 にタッチする

設定中



4 < > で、変更する場所を選択する

●変更できる場所が反転表示されます。

5 ▼ ▲ で、時間を変える

● 4 と 5 を繰り返し、時刻を合わせます。
《設定は、10分刻みです》

設定中

6 決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

設定時刻に近づくと…
●湯はり設定で設定されている温度と量で湯はりします。

予約を止める場合は…
1～3の操作を行い、左図の画面を表示させ、決定 にタッチします

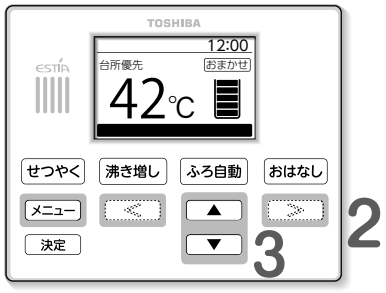
- 予約設定は、1回限りの設定です。必要なときに、設定をしてください。
- 一度予約設定をすると、設定した時刻は記憶されます。同じ時刻に予約する場合は、時刻設定を省けます。
- 湯はり予約は、湯はりが始まると自動解除します。
- 湯はり予約待機中に『**ふろ自動**』を設定すると、予約が解除され、自動湯はりを開始します。
- 2時間以上の停電があると、予約は解除されます。
- 予約の設定は、湯はりを完了させたい時刻の1時間以上前に行ってください。
  1時間未満の場合は、湯はりが完了しないことがあります。

ふろ自動運転のモードを選ぶ

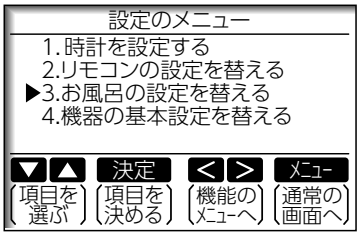
■ 残湯量目盛りが3つ以上あることを確認してください。湯はり量によっては湯はりが完了しない場合があります。
■ 浴槽をからにして、浴槽の栓とふたをしてください。

台所リモコン 設定のメニュー▶3.お風呂の設定を替える▶1.ふろ自動の動作を選ぶ

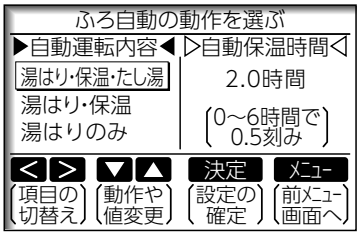
待機中



設定中



設定中



1 メニュー にタッチし『機能のメニュー』を表示させる

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

2 ＞ で、『設定のメニュー』を表示させる

3 ▼ ▲ で、『3.お風呂の設定を替える』を選択し 決定 にタッチする

4 『1.ふろ自動の動作を選ぶ』を選択し、決定 にタッチする

●それぞれの項目について下記の設定をしてください。

◆ 快適にお風呂に入りたいとき …… 湯はり・保温・たし湯

●湯はりの後、設定した時間中、浴槽の温度や水位が下がると自動で保温やたし湯をします。

1 ▼ ▲ で【湯はり・保温・たし湯】を選ぶ
2 ＞ で『自動保温時間』の項目を選択
3 ▼ ▲ で時間を調整
4 決定 で確定

◆ お風呂保温だけしたいとき …… 湯はり・保温

●湯はりの後、設定した時間中、浴槽の温度が下がると自動で保温します。

1 ▼ ▲ で【湯はり・保温】を選ぶ
2 ＞ で『自動保温時間』の項目を選択
3 ▼ ▲ で時間を調整
4 決定 で確定

◆ 湯はりだけしたいとき … 湯はりのみ

●湯はりの後、ふろ自動運転は解除します。

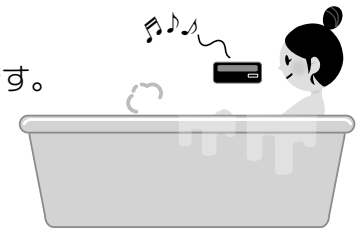
1 ▼ ▲ で【湯はりのみ】を選ぶ
2 決定 で確定

●**【湯はり・保温・たし湯】・【湯はり・保温】**自動保温時間の設定時間は0～6時間まで0.5時間刻みで設定できます。
●**【湯はりのみ】**の設定のときだけ、湯はり量を60～600Lまで設定できます。また、浴槽循環金具がかくれない量で、湯はりをしたいときにも設定します。📖20ページ

●『湯はりのみ』を設定すると、設定された湯温と湯量で湯はりするだけですので、浴槽に残り湯がある場合はお湯があふれることがあります
● 自動保温時間の『0時間』を設定し、浴槽の残り湯の温めなおしをする場合、通常の湯はりより時間がかかる場合があります。

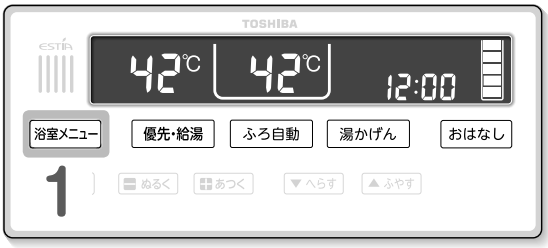
浴室タイマーを使う

■ 浴室で、『**時間を決めて入浴する**』などに使える、減算式の単機能タイマーです。



浴室リモコン

待機中



1 浴室メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》

《ガイダンスをもう一度聞く場合は、再度 湯かげん にタッチする》

設定中

2 へらす にタッチする

設定中

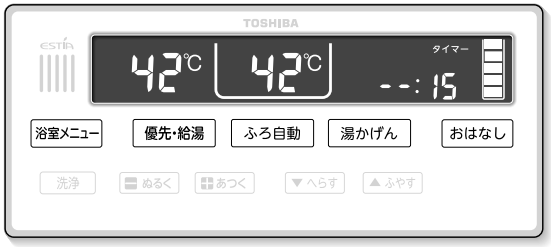
3 へらす ふやす で時間を変更する

4 浴室メニュー にタッチする

《浴室メニュー にタッチしないと減算を開始しません》

● **BGMと共に減算を始めます。**
《BGMは動作中でも変更できます。》

動作中



タイマーが『0』になると…
- チャイムでお知らせします。

途中で止める場合は…
浴室メニュー にタッチしてから、へらす にタッチ

《お湯を使うと『給湯量NaVi』を表示し、お湯を止めると『タイマー』の表示に戻ります。》

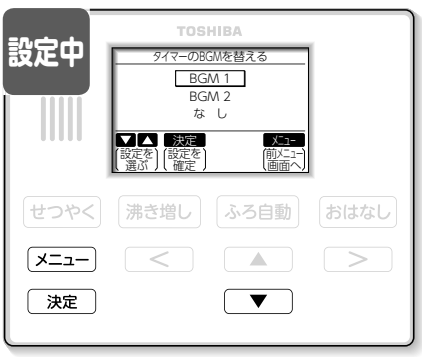
◆ BGMを替えるには…台所リモコンで変更

設定のメニュー ▶ 3.お風呂の設定を替える ▶ 3.ﾀｲﾏｰのBGMを替える

1
① メニュー にタッチし『機能のメニュー』を表示させ、
＞ にタッチし『設定のメニュー』を表示させる
② ▼ に2回タッチし『3.お風呂の設定を替える』を表示させ、
決定 にタッチする
③ ▼ に2回タッチし『3.ﾀｲﾏｰのBGMを替える』を表示させ、
決定 にタッチする

2 ▼ ▲ で選択し、決定 にタッチする
《決定 にタッチしないと確定しません》

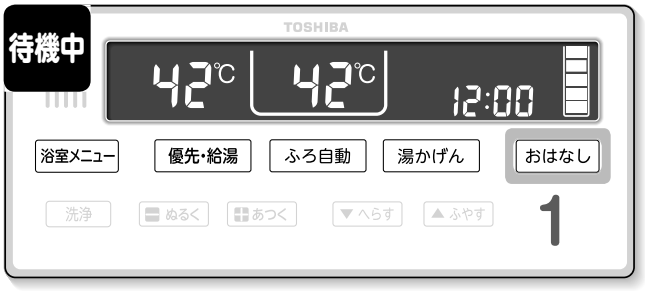
設定中



『おはなし』をする

■ 台所リモコンと浴室リモコンとで会話ができます。

浴室リモコン



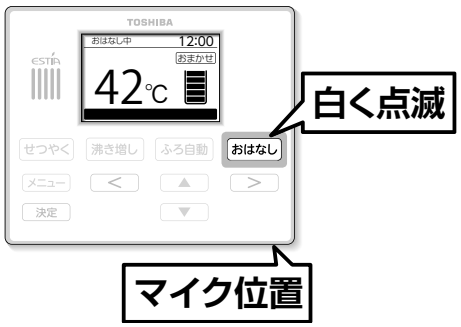
浴室から話し出すとき

1 **おはなし にタッチする**

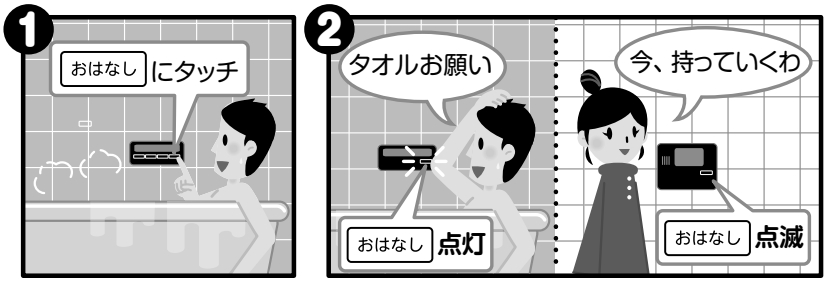
《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》

2 **おはなし が点灯したら話せます**

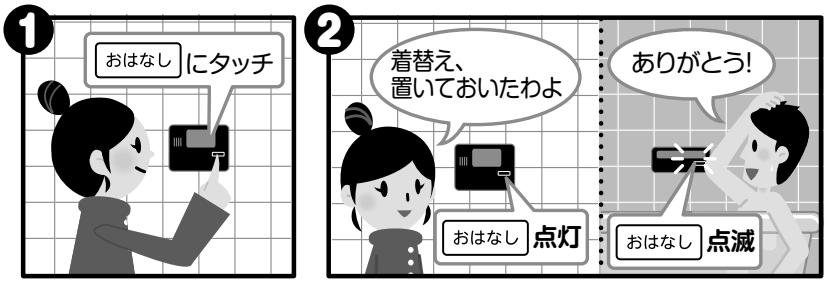
- おはなし の点灯が、『話し手』を示しています。
  マイクに向かって話してください
- このとき、台所リモコンの おはなし は、点滅しています。



■ 浴室リモコンから話し出す場合…



■ 台所リモコンから話し出す場合…



点滅している おはなし に タッチすると…

- 『聞き手』から『話し手』に替わります。

点灯している おはなし に タッチすると…

- おはなし機能を終了します。
  （操作後、1分経過でも終了します）

- 台所と浴室で、おはなし を 交互にタッチすることで会話ができます。
- 台所リモコンから話し出すときは、台所リモコンの おはなし にタッチします。

- 声の音質によっては、声が聞き取りにくくなる場合があります。そのようなときは、マイクに近づいて話してください。
- 会話中の音量は変更できます。33ページ の手順で操作してください。

銀イオンの湯について

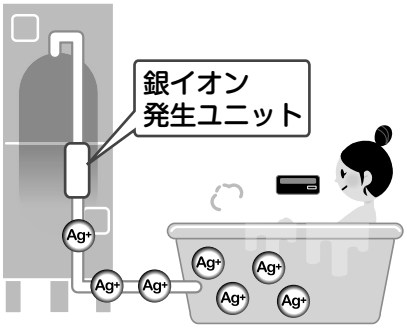
銀イオン発生機能付機種のみ

■ 銀イオン発生機能付き製品では、湯はりとたし湯の際に、銀イオン発生ユニットの純銀プレート間に電圧をかけて銀イオンを発生させています。（ふろ自動のたし湯と高温たし湯は除く）

■『銀イオンの湯』は、除菌・防臭効果があります。
- 次に入浴されるかたにもきれいなお湯を楽しんでいただけます。
- 翌日の洗濯など生活用水に利用するときにも銀イオンがない場合に比較して、きれいで臭いが少ない水が利用できます。
- 浴槽配管内の菌繁殖抑制にも効果があります。(ふろ自動が設定されている場合)

■ 湯はりやたし湯の際の『銀イオン』の量を変更できます。銀イオンを止めることもできます。

■ 銀イオンは光と反応し、浴槽の黒ずみの原因となる場合があります。入浴時以外は、浴槽のふたを利用して光を浴槽水に当てないようにお使いください。40・53ページ



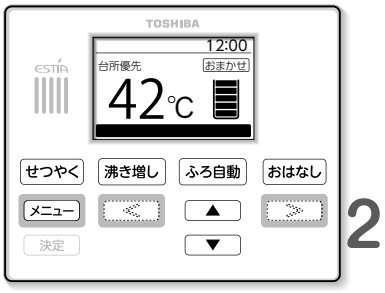
（イメージ図）

銀イオンの量を替える

銀イオン発生機能付機種のみ

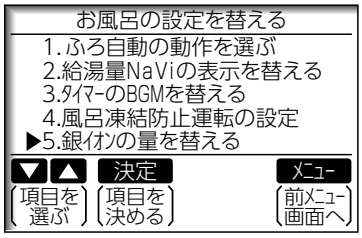
台所リモコン　設定のメニュー ▶ 3.お風呂の設定を替える ▶ 5.銀ｲｵﾝの量を替える

待機中

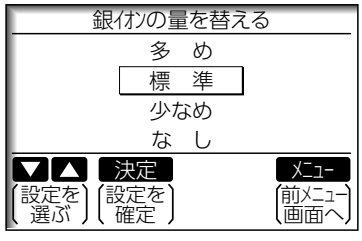


－『設定のメニュー』省略－

設定中



設定中



1 メニュー にタッチし
『機能のメニュー』を表示させる

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》
※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

2 ＞ で、
『設定のメニュー』を表示させる

3 ▼ ▲ で、
『3.お風呂の設定を替える』を選択し
決定 にタッチする

4 ▼ ▲ で、
『5.銀ｲｵﾝの量を替える』を選択し
決定 にタッチする

5 ▼ ▲ で設定を選び、
決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

◆「銀イオンの量」について　入浴される人数や季節など使いかたで替えることができます。

「多　め」… 夏場やいつもより入浴人数が多いときなど、標準よりも効果を強くしたいときなど。
「標　準」… お買い上げ時の設定です。
「少なめ」… 入浴人数が少ないときや入浴間隔が短いとき。交換時期を長くしたいとき。
(効果が感じられなかったら、設定を標準や多めに変更してください。)
「な　し」… 銀イオンの発生を止めたいとき。

銀イオンの交換時期

銀イオン発生機能付機種のみ

■ 銀イオン発生ユニットは消耗品です。（保証対象外）

浴室リモコン

◆ 銀イオン発生ユニットの銀イオン残量が十分な場合

《湯はり、たし湯時に イオン が点灯します》

●『銀イオンの量』の設定が【なし】の場合は点灯しません。

◆ 銀イオンが減ってくると…

《湯はり中に イオン が点滅します》

●発生する銀イオンの量は変わりません。

◆ 銀イオンがなくなると…

《通常時、湯はり、たし湯していないときでも イオン が点滅します》

●お買い求めになった販売店または工事店に交換(有料)をご依頼ください。

◆ 銀イオン発生ユニット交換の目安

「銀イオンの量」、湯はり量、たし湯の頻度によって、交換時期は変わります。

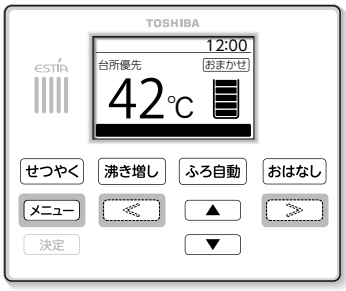
● 湯はり量180L、たし湯なしの場合、交換時期は **“標準”：約10年 “多め”：約5年** が目安です。

リモコンの設定を替える

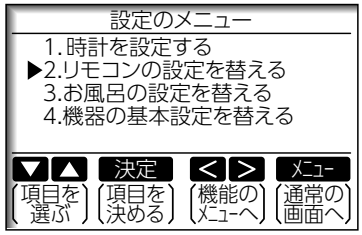
■ ガイダンスやおはなしの音量、表示の点灯時間・タッチスイッチ（キー）の感度など、お好みに合わせ設定できます。

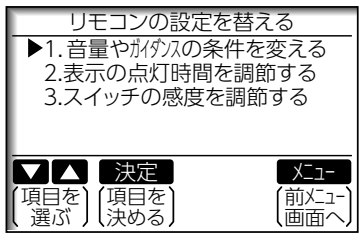
台所リモコン 設定のメニュー▶2.リモコンの設定を替える

待機中



設定中





1 〔メニュー〕にタッチし『機能のメニュー』を表示させる

《キーの表示がないときは、〔メニュー〕にタッチする》

※〔メニュー〕にタッチすると〔＜〕〔＞〕キーが表示されます。

2 〔＞〕で、『設定のメニュー』を表示させる

3 〔▼〕〔▲〕で、『2.リモコンの設定を替える』を選択し〔決定〕にタッチする

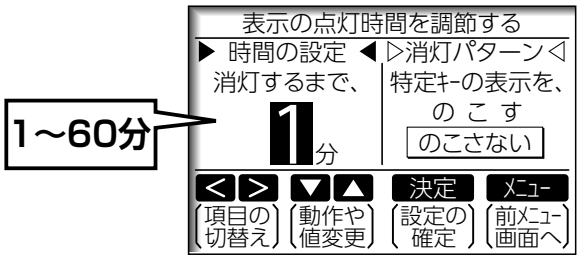
《〔決定〕にタッチしないと確定しません》

- それぞれの項目については下記および次ページの設定をしてください。

◆ 表示の点灯時間を替えたい場合…

キー操作後、表示の消灯までの時間を設定します。

4 〔▼〕で、『2.表示の点灯時間を調節する』を選び、〔決定〕にタッチする



5 時間を変えるには…

- 〔▼〕〔▲〕で時間を変更します

特定のキー（台所リモコン〔メニュー〕/浴室リモコン〔浴室メニュー〕）表示を残すには…

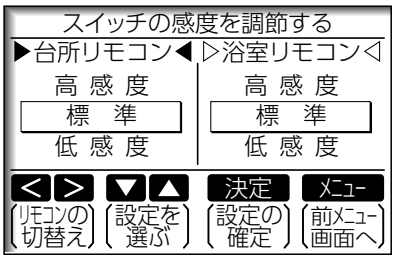
- 〔＞〕で項目を切り替え、〔▼〕〔▲〕で選択します。

6 〔決定〕にタッチする

《〔決定〕にタッチしないと確定しません》

◆ タッチスイッチの感度（キーの操作感度）を替えたい場合…

4 〔▼〕で、『3.スイッチの感度を調節する』を選び、〔決定〕にタッチする



5 台所リモコンの感度を変えるには…

- 〔▼〕〔▲〕で選択します

浴室リモコンの感度を変えるには…

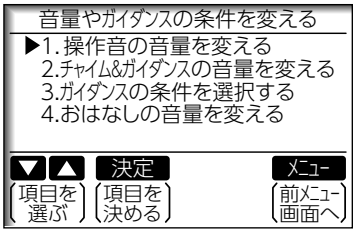
- 〔＞〕で浴室リモコンに切り替え、〔▼〕〔▲〕で選択します。

6 〔決定〕にタッチする

《〔決定〕にタッチしないと確定しません》

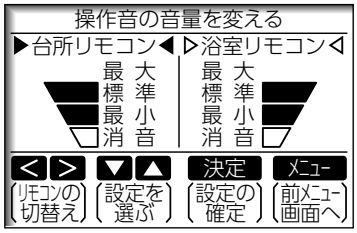
◆ 音量やガイダンスの条件を変えたい場合…

4 『1.音量やガイダンスの条件を変える』を選び［決定］にタッチする



操作音の音量を変えるには…

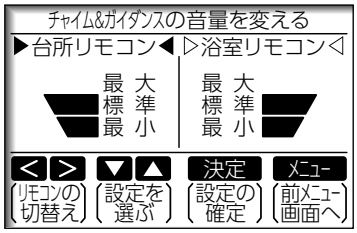
5 『1.操作音の音量を変える』を選び、［決定］にタッチする



6.★共通操作

チャイムやガイダンスの音量を変えるには…

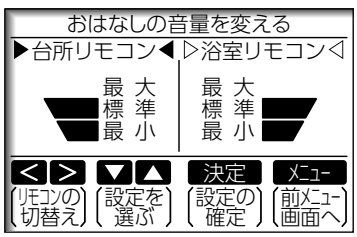
5 ［▼］で『2.チャイム&ガイダンスの音量を変える』を選び、［決定］にタッチする



6.★共通操作

おはなしの音量を変えるには…

5 ［▼］で『4.おはなしの音量を変える』を選び、［決定］にタッチする



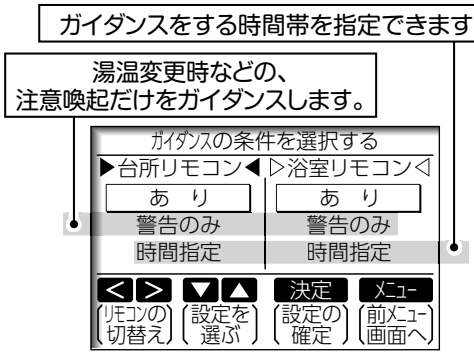
6.★共通操作

★下記の画面での共通操作

- **台所/浴室リモコンの切り替えは…**
  ［＜］［＞］でリモコンを切り替えます。
- **設定や時間の変更は…**
  ［▼］［▲］で選択します。
- **設定の確定は…**
  項目を選び終えてから［決定］にタッチします。

ガイダンスの条件を変えるには…

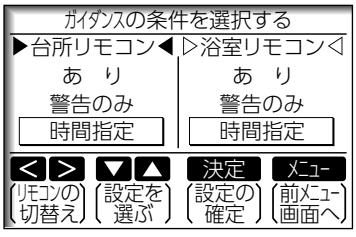
5 ［▼］で『3.ガイダンスの条件を選択する』を選び、［決定］にタッチする



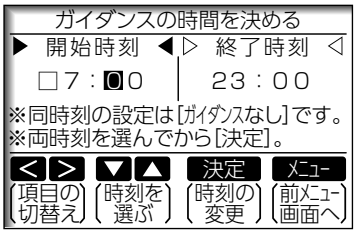
6.★共通操作

●【時間指定】をしたい場合

6 ★共通操作で【時間指定】を選び［決定］にタッチする



7 ［＜］［＞］で開始時刻と終了時刻を切り替え、［▼］［▲］で時刻を変更（10分刻み）し、［決定］にタッチする

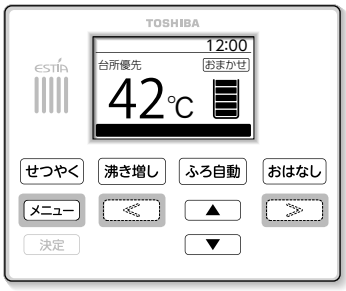


連絡先の電話番号を登録する

■ 販売店や工事店の電話番号を登録することで、故障時などに表示させることができます。

台所リモコン 設定のメニュー ▶ 4.機器の基本設定を替える ▶ 2.連絡先電話番号を登録する

待機中



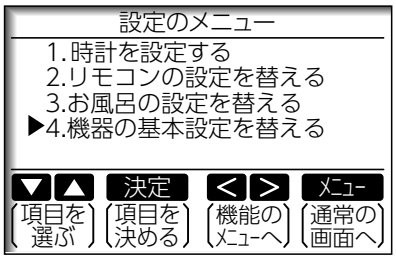
1 メニュー にタッチする

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

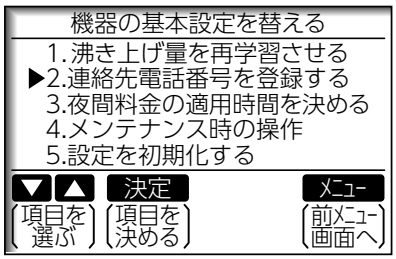
※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

2 ＞ で、『設定のメニュー』を表示させる

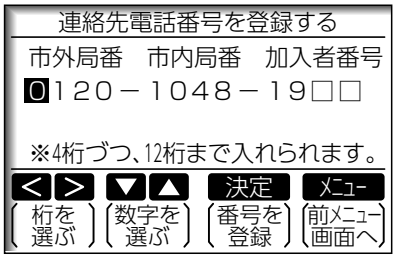
設定中



3 ▼ ▲ で、『4.機器の基本設定を替える』を選択し 決定 にタッチする



4 ▼ ▲ で、『2.連絡先電話番号を登録する』を選択し 決定 にタッチする



5 電話番号を入力する

数字を変えるには…

▼ ▲ で、数字を変更します。

桁を変えるには…

＜ ＞ で、桁を選びます。

6 決定 にタッチする

《決定 にタッチしないと確定しません》

連絡先の電話番号を呼び出すには…

《手順1～4の操作を行い、『連絡先電話番号を登録する』を表示させる》

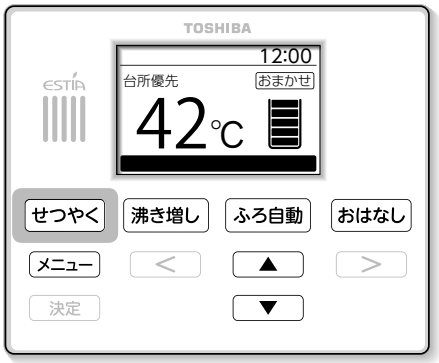
● 登録できる電話番号は1つです。
お買い上げ時は、0120-1048-19（東芝電気給湯機ご相談センター）が登録されています。

節約のために【せつやくメニュー】

■ 機器の設定で、『**節約**』にかかわるメニューを集めてあります。
■ 各メニューの設定は、指定のページを参照してください。

台所リモコン

待機中



1 せつやく **にタッチする**

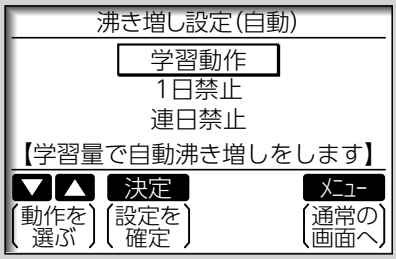
《キーの表示がないときは、 メニュー **にタッチする》**

設定中

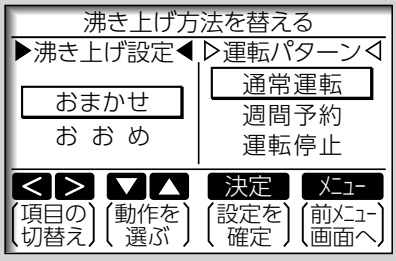
2 ▼ ▲ **で、**
希望のメニューを選択する

3 決定 **にタッチする**

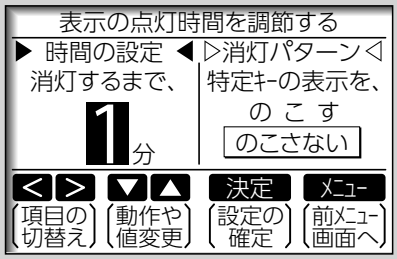
『1.自動沸き増し設定を替える』



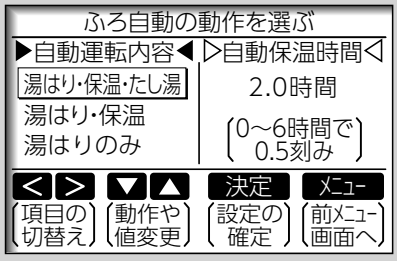
『2.沸き上げ方法を替える』



『3.表示の点灯時間を調節する』



『4.ふろ自動の動作を選ぶ』

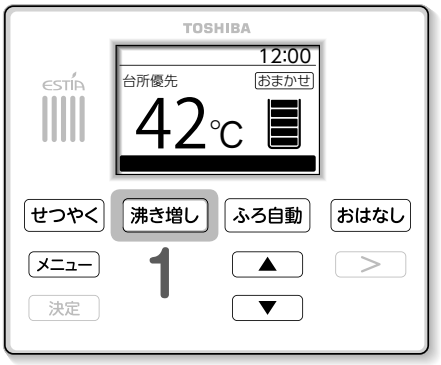


学習自動沸き増しの止めかた

■ 学習機能により、昼間の時間帯に沸き増し運転をすることを止めたい場合に設定します。
■ この設定を行うと、学習機能が働かないため、『湯ぎれ』をすることがあります。残湯量にご注意ください。

台所リモコン

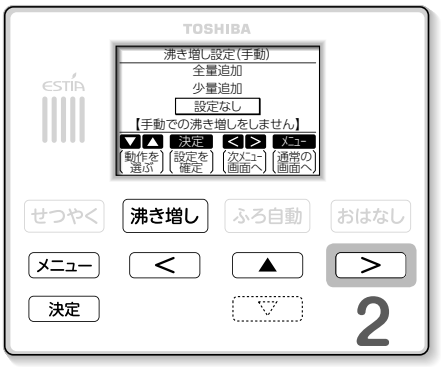
待機中



1 沸き増し にタッチする

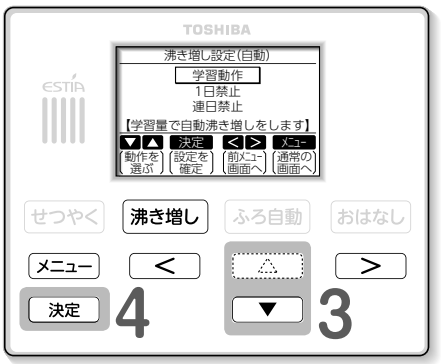
《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

設定中



2 ＞ で、
『沸き増し設定（自動）』を表示させる

設定中



3 ▼ ▲ で、設定を選ぶ

◆ 今日だけ、止めたいとき… **1日禁止**
設定した当日だけ、学習沸き増しをやめます。

◆ 毎日、止めたいとき …… **連日禁止**
設定した日から解除するまで、学習沸き増しをやめます。

4 決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

設定を解除するには…
上記の1～4の操作の中で3の操作のときに、『学習動作』を選択する

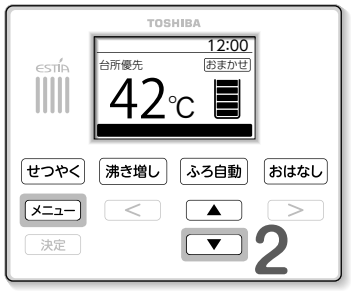
● **『学習沸き増しの禁止』**を設定していても、手動設定の沸き増しは設定できます。24ページ
● 学習沸き増しを禁止すると、湯ぎれをする場合があります。状況に応じて、残湯量目盛りを確認してください。

沸き上げの止めかた

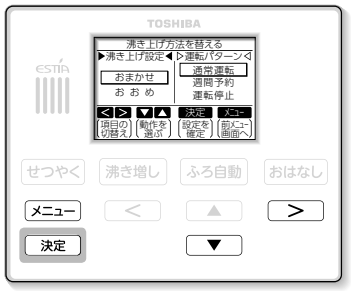
■ 一週間のパターン設定で、『沸かす日』と『沸かさない日』を設定できます。
■ 沸き上げ運転を、2～15日間または、解除するまで連続で停止することができます。

台所リモコン 機能のメニュー ▶ 3.沸き上げ方法を替える

待機中



設定中



1 メニュー にタッチする
《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

2 ▼ ▲ で、
『3.沸き上げ方法を替える』を選ぶ

3 決定 にタッチする
《 決定 にタッチしないと確定しません》

下図の画面を出すには…
- 項目の切り替えは…
  < > で項目を切り替えます。
- 動作の変更は…
  ▼ ▲ で選択します。
- 設定の確定は…
  項目を選び終えてから 決定 にタッチします。

◆ 週間設定で止めたいとき …… 週間予約

2 < > で、
『曜日』を選び
▼ ▲ で、
『お湯のいらない曜日』は指定日にする
《設定した曜日には、前夜の沸き上げを行いません》

3 決定 にタッチする
《 決定 にタッチしないと確定しません》

◆ 日数で止めたいとき … 運転停止

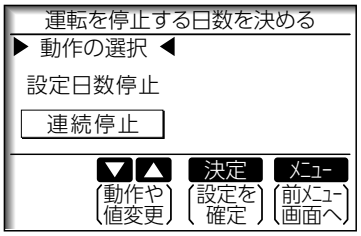
『設定日数』を選択する場合

2 < > で、
『日数の選択』を選び
▼ ▲ で、
『日数』を選ぶ

3 決定 にタッチする
《 決定 にタッチしないと確定しません》

- 設定できる日数は2～15日です。
- 2泊3日の旅行に出かけるときは、出発日に『2日』を選んでください。

『連続停止』を選択する場合



1 ▼ ▲ で、
『連続停止』を選択する

2 決定 にタッチする
《 決定 にタッチしないと確定しません》

- 凍結のおそれがある場合は、『運転停止設定』を設定しないでください。

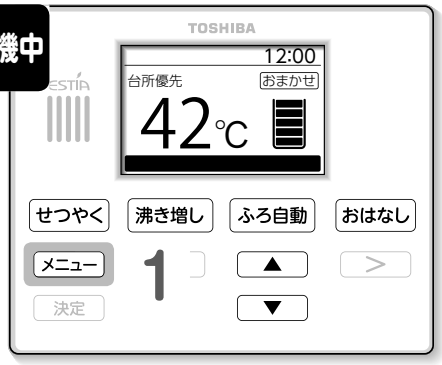
設定を解除するには…
『沸き上げ方法を替える』のメニューで、
『通常運転』を選択し、決定 にタッチします。

過去の使用量を見たいとき【モニター】

■ 過去一週間の給湯量・電力量・お風呂の保温時間（平均）・追いだきの回数（平均）が確認できます。
■ ご使用の目安としてご利用ください。

台所リモコン 機能のメニュー ▶ 4.モニターを見る

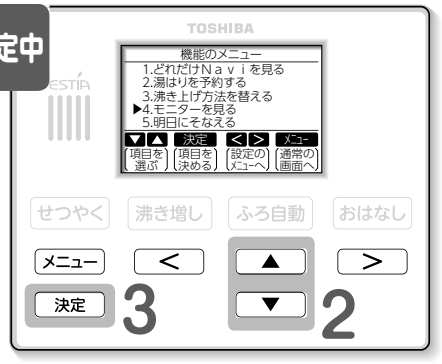
待機中



1 メニュー **にタッチする**

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

設定中

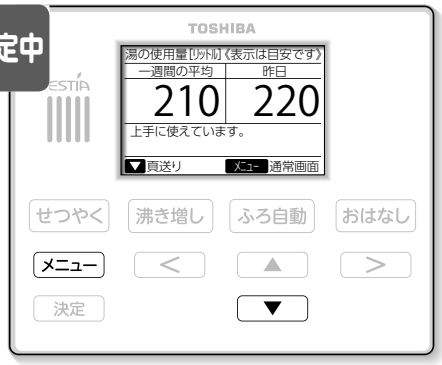


2 ▼ ▲ **で、『4.モニターを見る』を選ぶ**

3 決定 **にタッチする**

《 決定 にタッチしないと確定しません》

設定中



●表示を切り替えるには…

▼ ▲ で、表示内容を替えます

●表示をやめるには…

メニュー にタッチする

モニター内容（表示例）

『お湯の使用量（平均と昨日）』

湯の使用量[リットル]《表示は目安です》

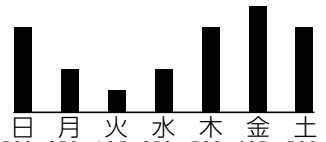
一週間の平均	昨日
210	220

上手に使えています。

▼頁送り　メニュー通常画面

『湯の使用量グラフ』

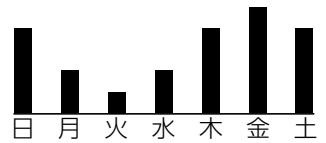
湯の使用量[リットル]《表示は目安です》



▼▲頁送り　メニュー通常画面

『電力量グラフ』

電力量[kWh]　《表示は目安です》



▼▲頁送り　メニュー通常画面

『ふろ保温時間』

ふろ保温時間　単位：時間

設定	一週間平均	昨日
2.0	1.0	1.0

いつも時間前に止めています、保温設定を替えると便利です。

▼▲頁送り　メニュー通常画面

『追いだき回数』

追いだき回数

一週間平均	昨日
1回	2回

▲頁送り　メニュー通常画面

● 表示は目安です。
● お湯の使用量は、使用したお湯の量を42℃に換算したものです。
● 電力量は給湯機だけの電力量です。

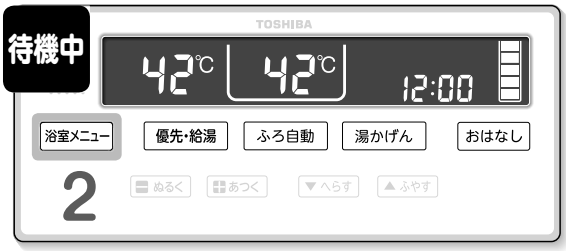
洗浄のしかた【浴槽配管の洗浄】

■ 貯湯ユニットと浴槽を接続する浴槽配管は定期的に洗浄が必要です。定期的に行ってください。
■ 洗浄には、洗い流し洗浄と循環洗浄があります。洗い流し洗浄は、週１回程度。循環洗浄は月１回程度を目安にしてください。
■ **『ふろ自動運転』は、必ず終了させてください。（ふろ自動 が白色点灯であることを確認）**

浴室リモコン

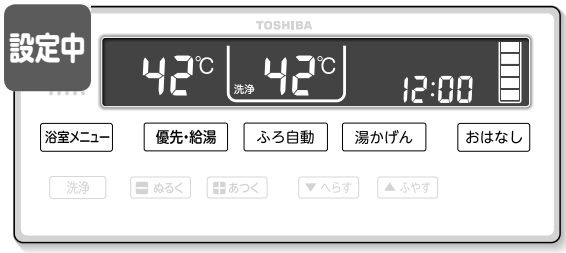
洗い流し洗浄

1 浴槽の残り湯を排水し、浴槽の栓は開けたままにする



2 浴室メニュー にタッチする
《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》
《ガイダンスをもう一度聞く場合は、再度 浴室メニュー にタッチする》

3 洗浄 にタッチする
《洗浄開始のガイダンスが流れ、洗浄を開始します》
●約15L流して洗浄します。

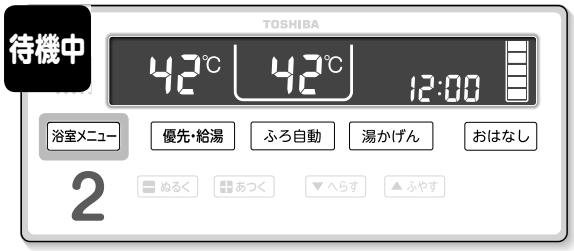


終了すると…● 洗浄終了のガイダンスが流れます

途中で止めるときは…
浴室メニュー ▶ 洗浄 **で解除されます。**
浴槽のお湯を排水してください。

循環洗浄

1 浴槽の残り湯が浴槽循環金具より5cm以上うえにあることを確認する



2 浴室メニュー にタッチする
《キーの表示がないときは、浴室メニュー にタッチする》
《ガイダンスをもう一度聞く場合は、再度 浴室メニュー にタッチする》

3 洗浄 に2秒間タッチする
《洗浄開始のガイダンスが流れ、洗浄を開始します》
●洗浄時間は約20分間です。

4 洗浄剤を入れる

5 洗浄終了のガイダンスが流れたら、一旦排水し、浴槽の栓を閉める
●汚れがひどいときや、念入りに洗浄したいときは、排水せずに1～3の手順を繰り返した後、5・6の手順を行ってください。

6 すすぎをするため、2～3の手順を繰り返す
《洗浄剤を洗い流すために必要です。洗浄剤を入れずにすすぎを行います》

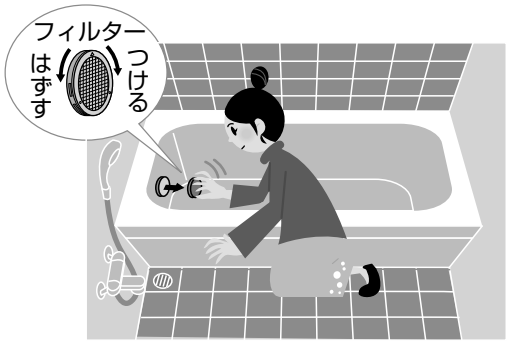
終了すると…● 洗浄終了のガイダンスが流れます

● 洗浄剤は、「クリーンリル」（ショーワ株式会社）、「ジャバ1つ穴用」（ジョンソン株式会社）に限ります。
ショーワ株式会社問い合わせ電話番号:058-232-1131
● 洗浄を行うとタンク内の湯温が下がります。なるべく入浴後その日のうちに行ってください。

洗浄のしかた（つづき）

浴槽循環金具の掃除

- 浴槽内のフィルターをはずし、1週間に1回程度掃除をしてください。フィルターが目詰まりすると、正常な湯はり・ふろ自動運転ができずエラー表示が出ることがあります。
- 掃除後はフィルターを確実に取り付けてください。フィルターを取り付けないで使用すると、故障の原因になります。



リモコンの掃除

- 表面の汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ります。
- 洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコールなどは使わないでください。
- 台所リモコンは防水機能はありませんので、水をかけないようにしてください。
- タッチキー部を掃除する場合は、キー操作のロックで、操作を受け付けない設定にしてから掃除してください。
- キー操作のロックは、メニュー（台所リモコン）、浴室メニュー（浴室リモコン）に2秒間タッチしてください。
- たわしなど固い物でこすると表面にキズが付きます。

浴槽の掃除

- 浴槽の主な汚れは、一般的には湯アカ（皮脂、角質などの皮膚の老廃物（アカ）、石けんカス、ほこりなどの汚れが結合したもの）や水アカ、空気中に微量浮遊している粒子状の物質（スス）が徐々に蓄積したものです。また、浴槽材料によっては発泡系の入浴剤も汚れの原因となります。
  汚れの種類により浴室用中性洗剤やクレンザー（微粒子タイプ）などを使ってしっかりお掃除しましょう。
  お湯を抜いてそのままおいておくと、汚れが乾いて落ちにくくなりますので、お湯を抜いてすぐのお掃除がおすすめです。
- 「銀イオンの湯」は、除菌・防臭に効果を発揮しますが、浴槽水中の銀イオンが光と反応して浴槽表面に銀として残り、黒ずみの原因になることがあります。この場合は、以下のお手入れ方法で対処してください。（黒ずみがひどくなる前にお手入れしてください。）なお、銀は食品添加物としても認可されており、人体への影響は報告されていません。（銀イオン発生機能付機種のみ）
- 銀イオン由来の黒ずみは光がきっかけで発生します。入浴中以外は浴槽のふたを利用して光を当てないでください。そのほか、黒ずみの抑制方法については、30・53ページもご覧ください。（銀イオン発生機能付機種のみ）

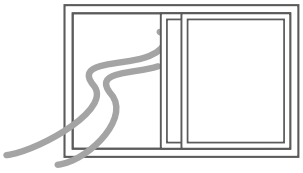
お手入れ方法（銀イオン発生機能付機種のみ）

① 市販の浴槽洗剤で掃除を行い、洗剤をよく洗い流します。（黒ずみをおおっている湯アカなどの汚れを落とします）

② 雑巾などで浴槽の水気をとります。（洗剤を浸透させやすくします。）

③ 浴室用塩素系カビ落とし剤を黒ずみ全体に吹き付けて、しばらくおき、洗剤を洗い流します。（下図）

1. 換気を確かめる



●使用前に洗剤に記載された使用方法をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

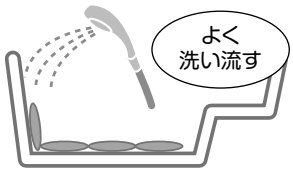
2. 浴室用塩素系カビ落とし剤を吹き付ける

●色落ちなどがないか、浴槽の目立たないところで試してからお使いください。吹きかけた洗剤が飛び散って目に入らないようにご注意ください。

3. そのまま5分程放置する

●汚れの面をこする必要はありません。放置時間は洗剤に記載された使用方法を守ってください。長時間放置しますと、変色の原因になります。

4. 洗剤を洗い流す

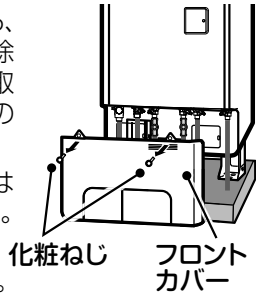


●洗剤が完全に流れきるまで、洗い流してください。

推奨洗剤：ジョンソン株式会社　強力浸透『浴室カビキラー』

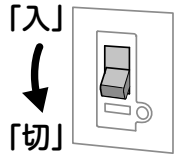
ストレーナー内の掃除

- お湯および水の出が悪くなったら、貯湯ユニットのストレーナーの掃除が必要です。脚部カバー(別売)を取り付けている場合は、脚部カバーのフロントカバーをはずしてください。
- 脚部カバーのフロントカバーをはずす場合は手袋をしてください。けがをすることがあります。
- 前面2ヵ所の化粧ねじをはずします。

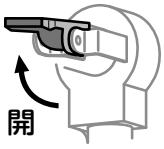


1 専用止水栓を閉じる

2 電源扉を開け
漏電しゃ断器のレバーを「切」にする

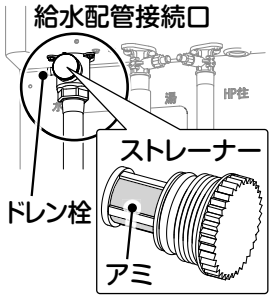


3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げてから
約1分間待つ



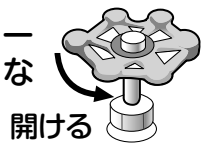
4 貯湯ユニットの
ストレーナーをはずし、
アミを掃除する

① ドレン栓をゆるめ、
配管の水を抜く
② ストレーナーをはずす
③ 水を流しながらブラシ
などでアミをよく洗う

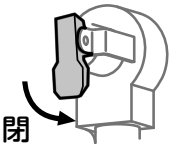


5 ドレン栓を閉めてストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

6 専用止水栓を開き、ストレーナー部などから水漏れがないかを確認する



7 逃し弁レバーを戻す



8 漏電しゃ断器のレバーを「入」にし、開けた電源扉・逃し弁扉を確実に閉じ、ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、お湯が出ることを確認する

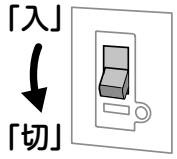
- お湯が飛び散る場合があります。ご注意ください。

タンク内の掃除

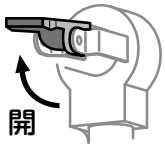
- いつもきれいなお湯が使えるように、年に2～3回タンクの底に沈殿した水アカなどを排水させます。
- タンク内の掃除は残湯量が3目盛以下または、一度、湯はりをした後にしてください。
(熱いお湯で排水口を傷める場合があります)

1 専用止水栓を閉じる

2 電源扉を開け、
漏電しゃ断器のレバーを
「切」にする



3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げてから
約1分間待つ

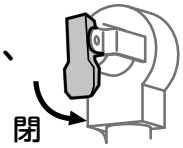


4 排水栓扉を開け、
排水栓を開く

5 水がきれいになったら
(約2分程度が目安)
排水栓を閉じる

6 排水が止まったら、専用止水栓を開き、排水トラップにお湯が出てくるのを確認
(見えないときは音で確認)

7 お湯が出てきたらすぐに、
逃し弁レバーを戻す



8 漏電しゃ断器のレバーを「入」にし、開けた電源扉・逃し弁扉・排水栓扉を確実に閉じ、ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、お湯が出ることを確認する

- お湯が飛び散る場合があります。ご注意ください。

点検をする（定期点検）

事故を防ぐために、以下の点検を必ず行ってください。

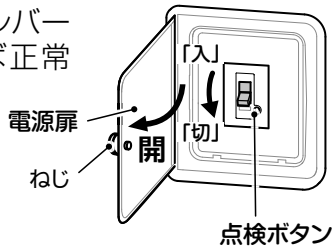
漏電しゃ断器の動作確認

- 漏電しゃ断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
- 年に2～3回、漏電しゃ断器の動作確認をしてください。

1 アース線が途中で切れていないか確認する

2 電源扉を開け、点検ボタンを押す

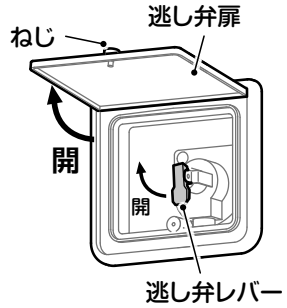
- 漏電しゃ断器のレバーが「切」になれば正常です。



3 必ずレバーを「入」に戻し、電源扉を閉じ、ねじを確実に締める

逃し弁の動作確認

- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。正常に動作しないとタンクが変形し、水漏れや故障の原因になります。
- 年に2～3回は、逃し弁のレバーを上げて、動作を確認してください。
- レバーを上げると排水し、戻すと排水が止まれば正常です。止まらない場合は、販売店または工事店に修理を依頼してください。



- 逃し弁の弁部に水アカが付着したり、異物をかみ込んだりすると、水漏れし、湯量不足の原因になります。
- 確認するために脚立などを使うときは、転倒しないように十分に気をつけてください。

水漏れの点検

- 貯湯ユニットの設置場所に水漏れがないか確認してください。設置面がぬれている場合は、配管または機器に異常があります。

凍結防止の確認

- 冬が近づいてきたら、早めに、凍結防止ヒーターの電源を入れることをおすすめします。■■43ページ の手順で確認してください。

定期点検（有料）

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4 年に1 回の定期点検をおすすめします。点検費用については、販売店または工事店にご相談ください。定期点検で見つかった不都合な部品は、保証期間中は無料で取り替えます。（消耗部品の保証期間は2年間です。）

定期点検の主な内容

- **据付状態の点検** 貯湯ユニット設置面（アンカーボルトの取り付け状態など）、配管状態（断熱処理など）、電気配線・アースの確認など、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認。
- **部品の点検** 貯湯ユニットの弁類（減圧弁・逃し弁・ミキシングバルブなど）、電気部品（制御基板など）、ポンプ、逆流防止装置、ヒートポンプユニット電気部品（制御基板）、圧縮機の点検。
- **掃　　除** タンク内の掃除、貯湯ユニットのストレーナーの掃除

消耗部品・劣化しやすい部品 ※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

●減圧弁　●逃し弁　●ミキシングバルブ　●電磁弁（簡易ホッパー）　●ポンプ
●二方弁　●三方弁　●水位センサー　●銀イオン発生ユニット

5 年保証に関する免責事項

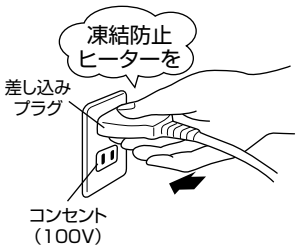
■■57ページ に5年保証に関する免責事項が記載してあります。大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

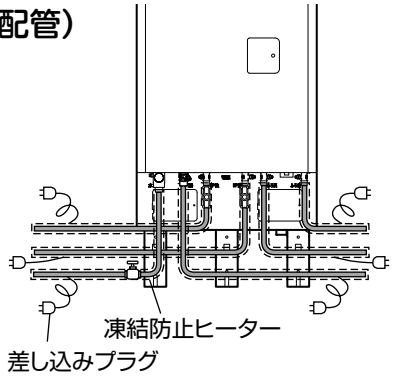
冬の準備をする【凍結を防止するために】

■ 凍結すると配管などが破損するおそれがあります。
■ 凍結を防ぐために下記の方法がありますので、それぞれ対応をしてください。

◆凍結防止ヒーターについて（給水・給湯・浴槽・ヒートポンプ配管）

- 外気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがあります。工事説明書通りの凍結防止ヒーターによる保温工事を行ってあることを確認してください。
- 水が凍る時期には、すべての配管の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になったら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。





◆ヒートポンプユニットの凍結防止運転について

- 外気温が下がると、循環ポンプが運転します。
- さらに、外気温が下がると沸き上げモードに関係なく、ヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプ配管の凍結防止を行います。
- 機器の電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための運転ができません。

◆浴槽配管の凍結防止運転について

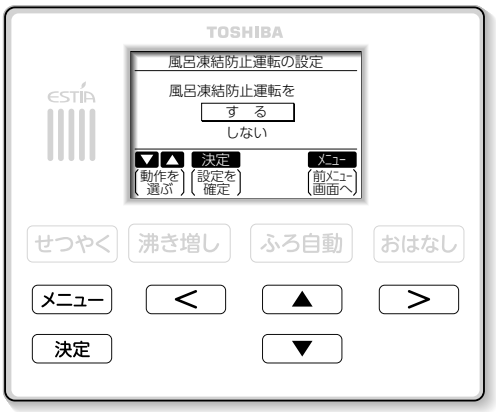
- **外気温が下がると、貯湯ユニット内のポンプによって浴槽に残ったお湯を循環させて、凍結を防ぎます。**
- **必ず浴槽にはお湯を浴槽循環金具より5cm以上残してください。お湯がないと、お湯を循環できません。**
- 機器の電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための循環ができません。
- 中間期（初冬･初春）でも、外気温によっては循環ポンプが運転することがありますが異常ではありません。
- 浴槽にお湯を残していない場合でも、外気温が下がるとポンプが運転し、浴槽循環金具からお湯や水が出ることがありますが、異常ではありません。
- 浴槽循環配管に凍結防止ヒーター工事をした場合は、浴槽にお湯を残す必要はありません。凍結防止ヒーターで行う場合は、リモコンの設定を下記手順で替えてください。
  ※シーズン初めの凍結防止ヒーターの入れ忘れにはご注意ください。

1 **台所リモコンで、『設定のメニュー』を表示させる。**
- メニュー と ＞ で選択できます。

2 **『3.お風呂の設定を替える』を選択する。**
- ▼ と 決定 で選択できます。

3 **『4.風呂凍結防止運転の設定』を選択する。**
- ▼ と 決定 で選択できます。

4 **『風呂凍結防止運転の設定』の画面で、【しない】を選択する。**
▼ と 決定 で選択できます。



- ヒートポンプユニットは、停止中も外気温によりファンを運転することがあります。

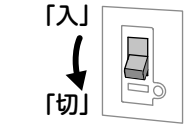
長期間使わないとき【排水・水抜き】

■ 長期間お使いにならないときは、下記の手順に従って、各部の排水および水抜きをしてください。
長期間お使いにならないと、タンクの水が変質するおそれがあります。必ずすべて排水してください。
■ タンク内のお湯を排水するときは、排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきり、水になってから排水してください。
■ 貯湯ユニットに脚部カバーを取り付けている場合は、はずしてください。8ページ

1 浴槽の残り湯を排水し、台所リモコンのメニューで水抜き動作を設定する

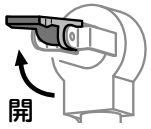
●『設定のメニュー』▶『4.機器の基本設定を替える』▶『4.メンテナンス時の操作』の『配管の水抜き』を【する】に設定し、約10秒間待ちます。51ページ

2 電源扉を開け、漏電しゃ断器のレバーを「切」にする



3 専用止水栓を閉める

4 逃し弁扉を開け、逃し弁レバーを上げて、逃し弁を開ける

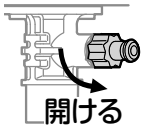


5 排水栓扉を開け、排水栓を開ける

●約40～60分で水が抜けます。
●熱湯が出るので注意してください。

6 貯湯ユニットのドレン栓（次ページ参照）、ヒートポンプユニットのドレン栓（2ヵ所）を5分以上開ける

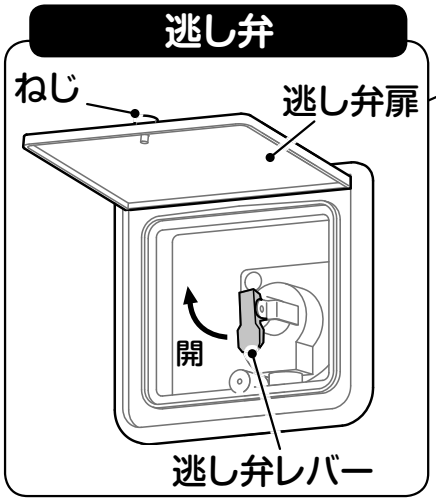
●水や熱湯が勢いよく出ることがあります。ご注意ください。
●設置状況によっては、水が抜けるまでに時間がかかる場合があります。ドレン栓はいっぱいまで開けてください。

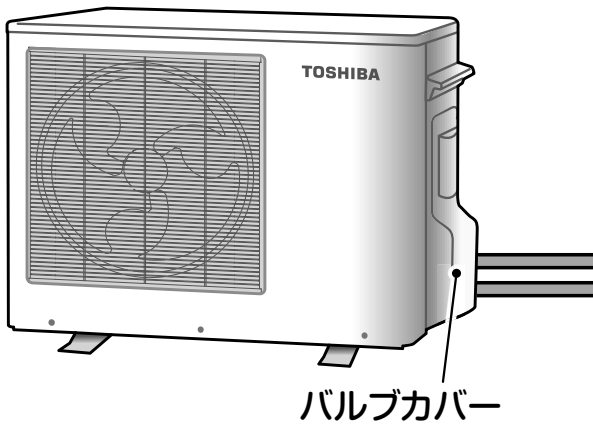


7 水抜きが終わったら、排水栓、貯湯ユニットのドレン栓（次ページ参照）とヒートポンプユニットのドレン栓（2ヵ所）を閉める

8 逃し弁レバーを戻し、逃し弁を閉める

9 2・4・5で開けた、貯湯ユニットの電源扉・逃し弁扉・排水栓扉を閉じて確実にねじを締め、ヒートポンプユニットのバルブカバーを取り付ける





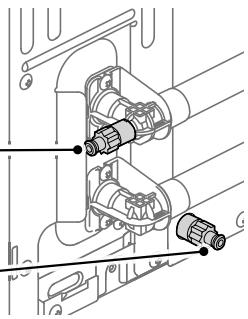
ヒートポンプユニットのドレン栓（2ヵ所）

バルブカバーの中にあります。

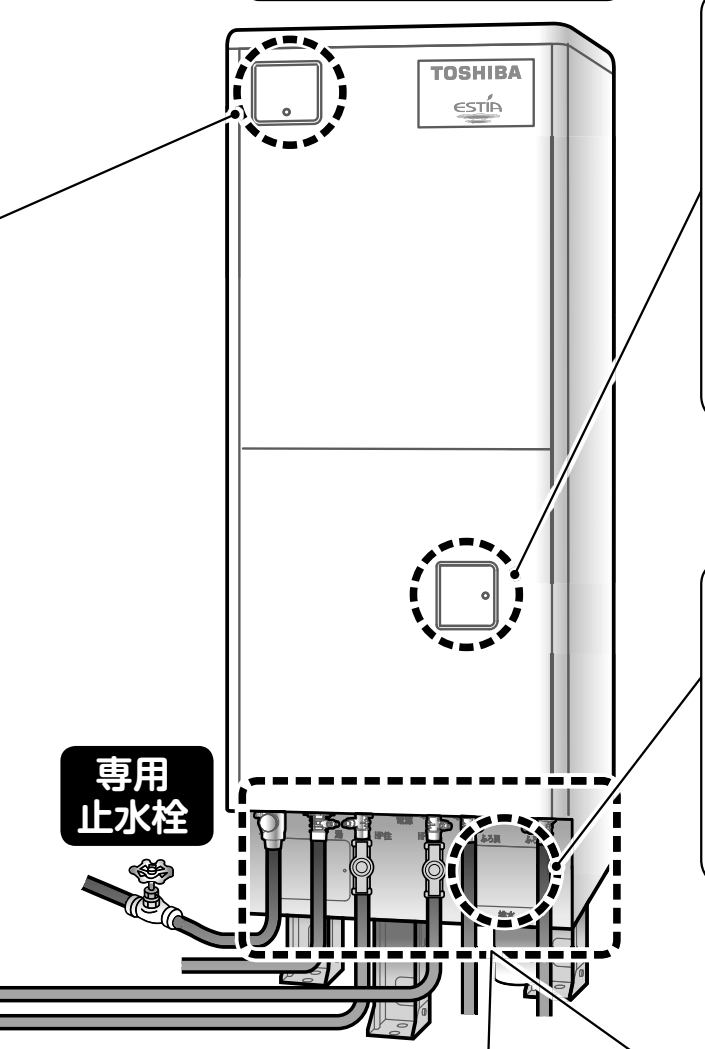
◆ バルブカバーのはずしかた

①バルブカバーを止めているねじ（3ヶ）をはずす
②下方へスライドさせる
③ツメ（2ヵ所）をはずし手前に引く

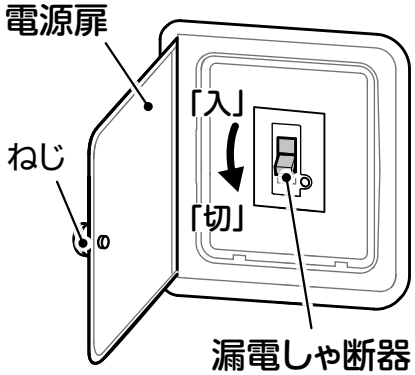
●ヒートポンプユニットのドレン栓を開くときは、順番があります。



貯湯ユニット



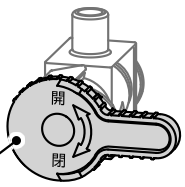
漏電しゃ断器



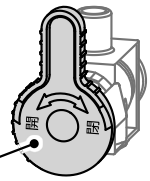
排水栓

排水栓扉の中に排水栓があります。

閉状態

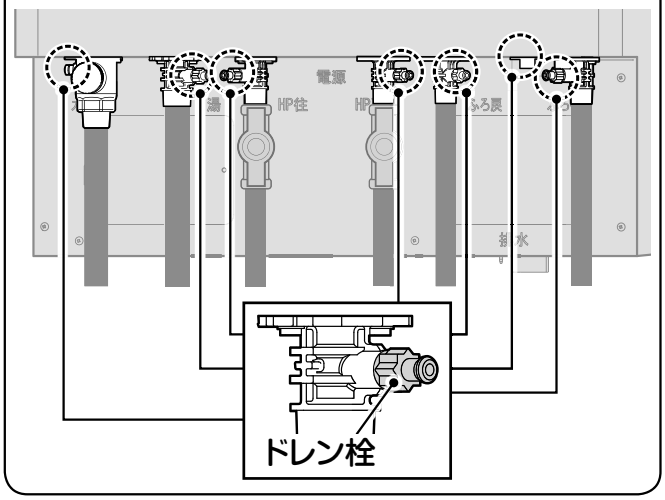


開状態



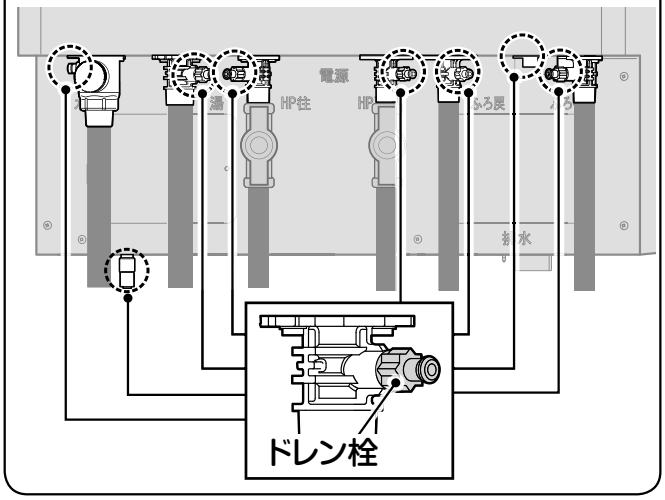
HWH-FB372CG　HWH-FB462SCG
HWH-FB372C　HWH-FB462SC

貯湯ユニットのドレン栓(7ヵ所)



HWH-FB462CG
HWH-FB562CG

貯湯ユニットのドレン栓(8ヵ所)



断水のとき【工事・非常時】

断水が事前にわかっているときは…（断水や水道工事のとき）

1 断水が始まる前に、専用止水栓を閉めてください。
- 工事などにより、汚れた水がタンクに入るのを防ぐためです。

2 断水が終了したら、混合水栓の水側のみを開け、汚れた水が出なくなるまで出し続けてください。
- 工事などにより、汚れた水がタンクに入るのを防ぐためです。

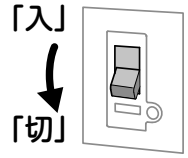
3 専用止水栓を開け、逃し弁を開けてお湯が出ることを確認してください。
- 参照15ページ の『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を参考に行ってください。

4 混合水栓のお湯側をゆっくり開き、お湯が出ることを確認してください。
- 配管に空気が入り込み、お湯が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。

非常用水を取り出すときは…（非常時）

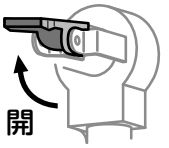
■ 万一の災害による断水時に、タンクのお湯（水）を生活用水としてご利用できます。
■ 熱いお湯が出るため、十分に注意して取り出してください。
■ ご使用は非常時だけにしてください。

1 電源扉を開け、漏電しゃ断器のレバーを「切」にする

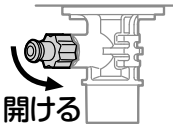


2 専用止水栓を閉める

3 逃し弁扉を開け、逃し弁レバーを上げて、逃し弁を開ける



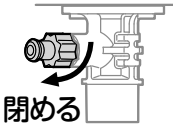
4 ヒートポンプ配管往き接続口のドレン栓を開き、お湯（水）を出す



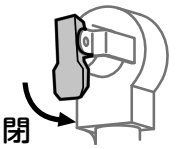
- 開いてすぐは汚れた水が出ます。きれいになってからお使いください。

使用後は…

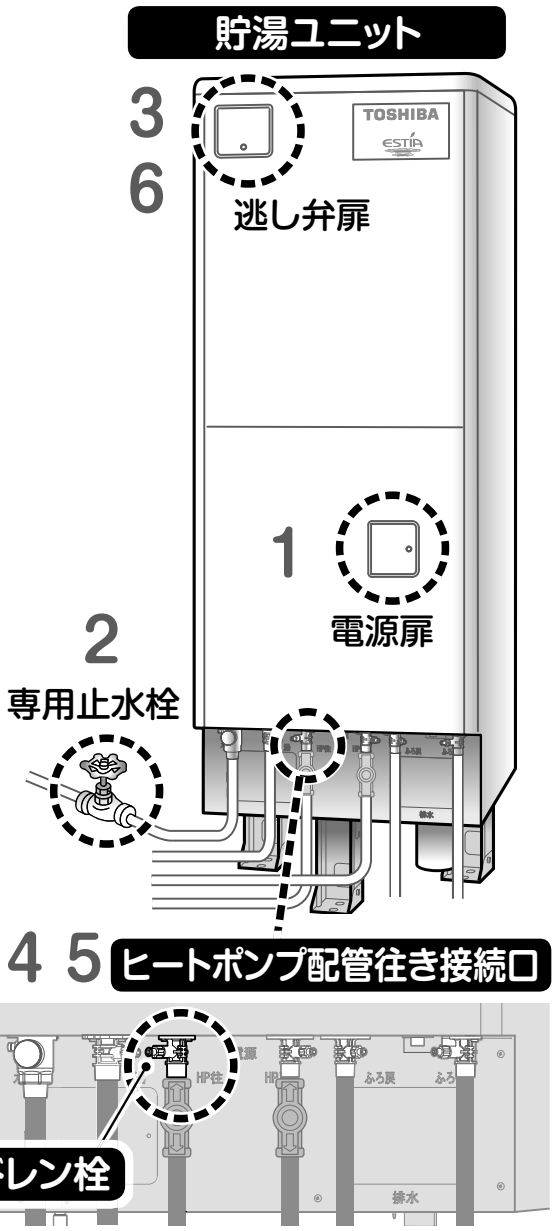
5 ヒートポンプ配管往き接続口のドレン栓を閉める



6 逃し弁レバーを戻し、逃し弁を閉める



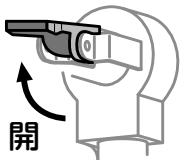
7 1・3で開けた、電源扉と逃し弁扉を閉じ、確実にねじを締める



断水が終了し、通常通りに使うためには…

■ 下記の操作を行わず、貯湯ユニットが満水になっていないと故障の原因になります。
混合水栓の水側を開け、給水がきれいになったのを確認してから行ってください。

1 逃し弁扉を開け、逃し弁レバーを上げて、逃し弁を開ける



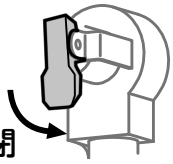
- 逃し弁を開けないと、確実に給水できません。

2 専用止水栓を開ける

3 排水トラップに、水が出ていることを確認する

- 貯湯ユニットが空の場合は、20～40分で満水になります。
- 見えないときは、水の音で確認してください。

4 逃し弁レバーを戻し、逃し弁扉を閉じる

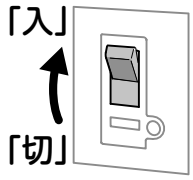


- 逃し弁レバーを戻すと、水も止まります。
- 逃し弁扉を閉じ、確実にねじを締めます。

5 混合水栓のお湯側を開く(下図)

- 水が連続的に出ることを確認します。
- 確認できたら、混合水栓を閉じます。

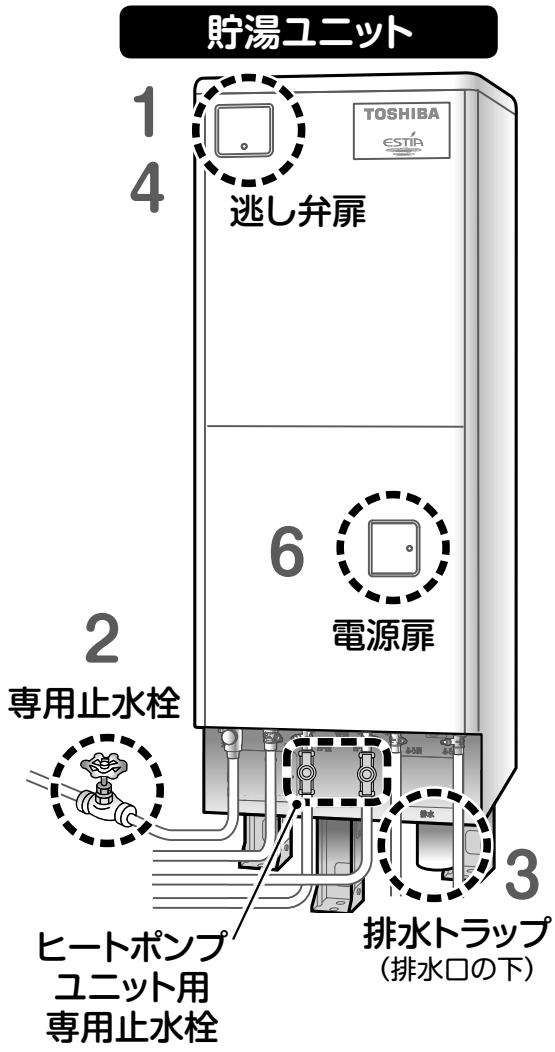
6 漏電しゃ断器のレバーを「入」にする



- 貯湯ユニットのポンプが約3分間運転します。
- 電源扉を閉じ、確実にねじを締めます。

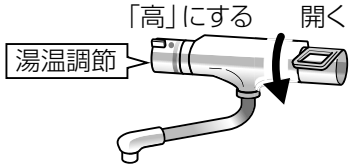
7 リモコンの時計を合わせる

- 16ページ の手順で合わせてください。

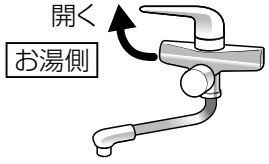


混合水栓のお湯側の開きかたの例

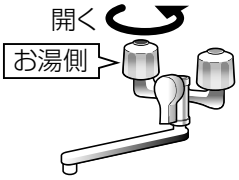
- お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。



■ サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして開く。



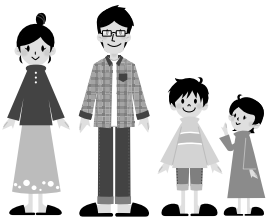
■ シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く。



■ 2ハンドルタイプ
お湯側だけを開く。

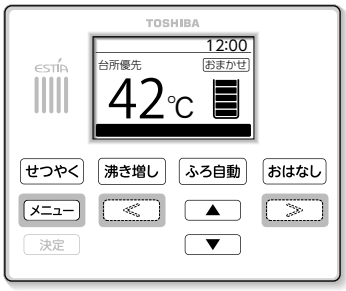
家族構成が変わったとき【再学習をさせる】

■ 家族構成が変わるとお湯の使用量が変わります。
■ お湯の使用量を再学習することで、湯ぎれを防ぐことができます。



台所リモコン 設定のメニュー ▶ 4.機器の基本設定を替える ▶ 1.沸き上げ量を再学習させる

待機中



1 メニュー にタッチし
『機能のメニュー』を表示させる
《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》
※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

2 ＞ で、
『設定のメニュー』を表示させる

設定中

設定のメニュー
1.時計を設定する
2.リモコンの設定を替える
3.お風呂の設定を替える
▶4.機器の基本設定を替える

▼▲ 項目を選ぶ / 決定 項目を決める / ＜＞ 機能のメニューへ / メニュー 通常の画面へ

3 ▼ ▲ で、
『4.機器の基本設定を替える』を選択し
決定 **にタッチする**

設定中

機器の基本設定を替える
▶1.沸き上げ量を再学習させる
2.連絡先電話番号を登録する
3.夜間料金の適用時間を決める
4.メンテナンス時の操作
5.設定を初期化する

▼▲ 項目を選ぶ / 決定 項目を決める / メニュー 前メニュー画面へ

4 ▼ ▲ で、
『1.沸き上げ量を再学習させる』
を選択し、 決定 **にタッチする**
《 決定 にタッチしないと確定しません》

設定中

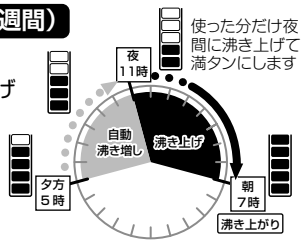
沸き上げ量を再学習させる
再学習を、
す る
しない

▼▲ 動作を選ぶ / 決定 設定を確定 / メニュー 前メニュー画面へ

5 ▲ で、【する】を選択し、
決定 **にタッチする**
《 決定 にタッチしないと確定しません》

再学習中（約一週間）

最初の1週間は、夜間に全量沸き上げます。
お湯の使い方を学習しています。

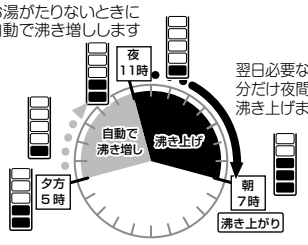


※通常時でも、お湯の使用量が少ない日が続くとこの再学習中動作になることがあります。

一週間後

通常時

夜間に沸き上げる温度と量をお湯の使いかたから決めています。
(毎日学習を続けています)
必要に応じて昼間も沸き増しします。



- 再学習には、1週間必要です。
- 再学習中は湯ぎれを防止するために、全量まで沸き上げます。
- 2日目以降、実際に沸かす量は使用分（放熱含む）だけです。

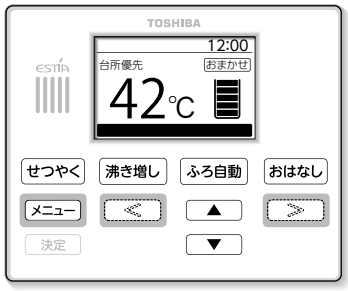
電力料金契約を変えたとき

■ 電気料金契約を変えた場合は、給湯機の設定も変える必要がある場合があります。(夜間の時間帯が変わった場合)

■ 電力量計の設定と異なった設定を行った場合は、思わぬ電気料金になる場合がありますので、ご注意ください。

台所リモコン 設定のメニュー ▶ 4.機器の基本設定を替える ▶ 3.夜間料金の適用時間を決める

待機中



1 メニュー にタッチし
『機能のメニュー』を表示させる

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

※メニュー に タッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

2 ＞ で、
『設定のメニュー』を表示させる

設定中

設定のメニュー
1.時計を設定する
2.リモコンの設定を替える
3.お風呂の設定を替える
▶4.機器の基本設定を替える

▼▲ 項目を選ぶ / 決定 項目を決める / ＜＞ 機能のメニューへ / メニュー 通常の画面へ

3 ▼ ▲ で、
『4.機器の基本設定を替える』を選択し
決定 にタッチする

設定中

機器の基本設定を替える
1.沸き上げ量を再学習させる
2.連絡先電話番号を登録する
▶3.夜間料金の適用時間を決める
4.メンテナンス時の操作
5.設定を初期化する

▼▲ 項目を選ぶ / 決定 項目を決める / メニュー 前画面へ

4 ▼ ▲ で、
『3.夜間料金の適用時間を決める』を選択し、決定 にタッチする

《決定 にタッチしないと確定しません》

設定中

夜間料金の適用時間を決める
誤った設定は電気料金が上ります
▶ 開始時刻 ◀▷ 終了時刻 ◁
夜 2**3**：00 | 翌朝 7：00 [8時間設定]

＜＞ 項目の切替え / ▼▲ 時刻を選ぶ / 決定 設定の確定 / メニュー 前画面へ

5 **『開始時刻』と『終了時刻』を正しく合わせる**

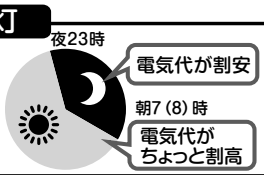
◆ **時刻を変えるには…**
▼ ▲ で時間を変更します。

◆ **『開始時刻』と『終了時刻』を切り替えるには…**
＜ ＞ で変更部(反転表示部)が移動します。

6 決定 にタッチする
《決定 にタッチしないと確定しません》

時間帯別電灯

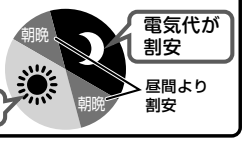
【夜間8(9)時間型】
夜間時間帯は夜23時～朝7(8)時までの **8(9)時間**



【夜間10時間型】
夜間時間帯は夜22時～朝8時までの **10時間**

季節別時間帯別電灯 (3時間帯別)

電力料金が **夜間・昼間・朝晩** の3つに分かれます



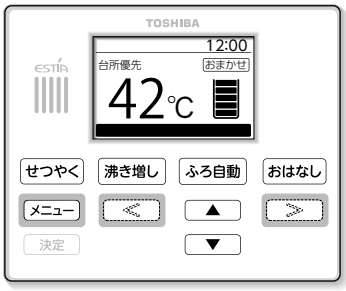
- 電力会社との契約内容にそって設定してください。
- お買い上げ時の設定は、23:00～7:00【夜間8時間型】の時間帯別電灯に合わせています。
- 上記の内容の設定で、夜間の沸き上げ運転を行います。

リモコンの設定を初期化したいとき

■ リモコンの設定を工場出荷時（お買い上げ時）の状態に戻すことができます。
■ 不用意な操作は、思わぬ電気料金になることがありますので、ご注意ください。

台所リモコン 設定のメニュー ▶ 4.機器の基本設定を替える ▶ 5.設定を初期化する

待機中

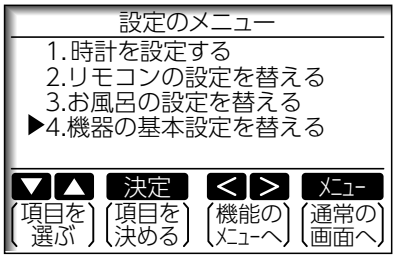


1 メニュー にタッチし
『機能のメニュー』を表示させる

※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

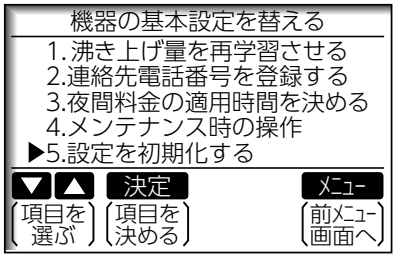
設定中



2 ＞ で、
『設定のメニュー』を表示させる

3 ▼ ▲ で、
『4.機器の基本設定を替える』を選択し
決定 **にタッチする**

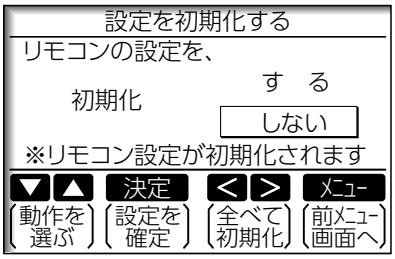
設定中



4 ▼ ▲ で、
『5.設定を初期化する』を選択し
決定 **にタッチする**

《 決定 **にタッチしないと確定しません》**

◆ リモコンの設定を初期化する場合は…

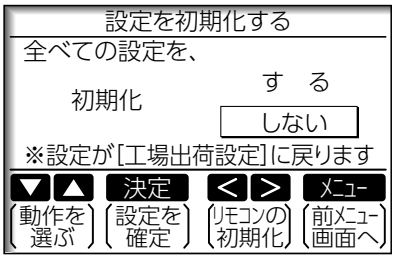


5 ▲ **で、【する】を選択する**

6 決定 **にタッチする**

《 決定 **にタッチしないと確定しません》**

◆ すべてを初期化する場合は…



5 ＞ で、次メニューを表示し、
▲ **で、【する】を選択する**

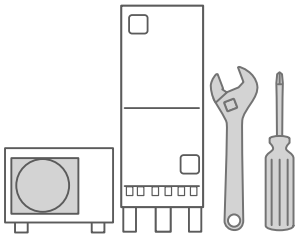
6 決定 **にタッチする**

《 決定 **にタッチしないと確定しません》**

● **『リモコンの設定』**とは、設定のメニューの音量の設定や、ガイダンスの設定などをさします。
● **『全べての設定』**とは、**『給湯量の学習データ』**など機器の基本設定にかかわることを含みますので、不用意な操作は、思わぬ電気料金が発生するおそれがありますので、操作する際には十分にご注意ください。

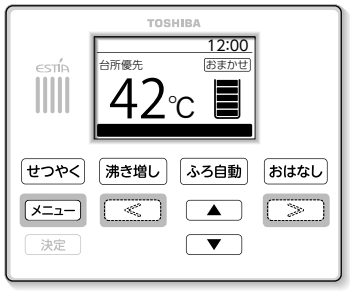
メンテナンスのとき

■ 通常の使用状態ではこの操作は必要ありません。



台所リモコン 設定のメニュー ▶ 4.機器の基本設定を替える ▶ 4.メンテナンス時の操作

待機中



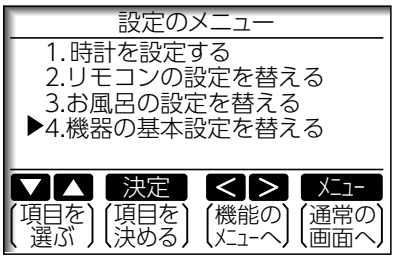
1 メニュー にタッチし『機能のメニュー』を表示させる

《キーの表示がないときは、メニュー にタッチする》

※メニュー にタッチすると ＜ ＞ キーが表示されます。

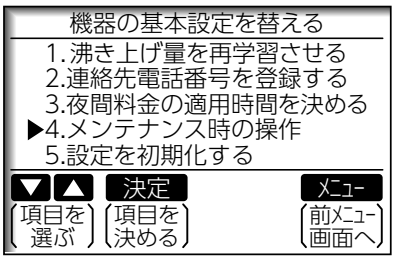
2 ＞ で、『設定のメニュー』を表示させる

設定中



3 ▼ ▲ で、『4.機器の基本設定を替える』を選択し 決定 にタッチする

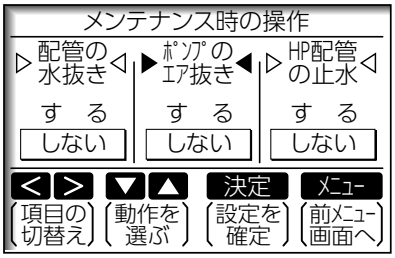
設定中



4 ▼ ▲ で、『4.メンテナンス時の操作』を選択し 決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

設定中



5 ＜ ＞ で、項目を選択し、▲ で、【する】を選択する

6 決定 にタッチする

《 決定 にタッチしないと確定しません》

▶配管の水抜き…… 『長期間使わないとき』 44ページ
▶ポンプのエア抜き … 『ヒートポンプユニットの自動エア抜き』
▶HP配管の止水 …… 動作しません

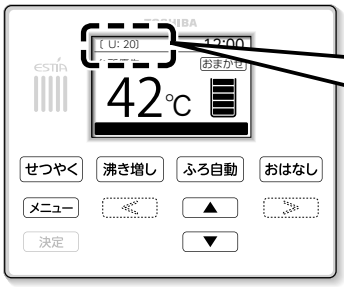
● 不用意な操作は、機器の故障を招く場合がありますので、ご注意ください。

このような表示が出たときは

■ 機器の使用状態や故障時など、リモコンにエラーコードが表示されます。
■ 台所リモコンに表示される手順に従って操作・解除を行ってください。

台所リモコン

表示例

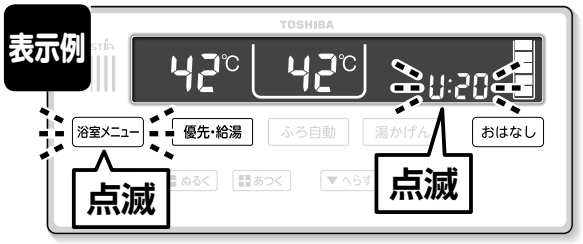


エラーコード
(図中の番号は例です)

〔U:20〕
台所優先

浴室リモコン

表示例



1 メニュー にタッチする《対処方法を表示します》

対処方法は発生した内容により異なります。

◆ 一旦解除して使用できる場合…

エラーの対処方法
発生中のエラーは、
『H: 6』
機器が安全停止しました。
一旦、メニュー で解除してください。
再発する場合は故障ですので、
修理依頼をして下さい。
▼〔連絡先表示〕 メニュー〔通常画面〕

◆ 修理依頼が必要な場合…

エラーの対処方法
発生中のエラーは、
『E: 1』
機器が安全停止しました。故障の可能性が高く危険な場合もあるため、専用止水栓をしめ、販売店様または工事店様に修理依頼をして下さい。
▼〔連絡先表示〕 メニュー〔通常画面〕

2 ▼ で、連絡先電話番号などを表示する

形名：HWH-FB372CG
修理のご依頼は、
販売(工事)店様に、ご依頼下さい。
リモコンに登録された電話番号は、
【※※※-※※※-※※※※】
もし、ご相談ができない場合は、
東芝電気給湯機ご相談センター
[0120-1048-19]まで。
▼〔エラー内容〕 メニュー〔通常画面〕

■■34ページ の手順で連絡先を登録するとこの部分に電話番号が表示されます

使い勝手で発生したエラーの場合は、その対処方法を表示します。

[U:20] 栓をせずに、湯はりをした場合…

『U:20』について
お風呂の循環ができていません。
多くは、浴槽の栓抜けが原因です。
または、循環金具に届かない量設定で湯はりをしたり、長期間、配管洗浄をしていない場合も発生します。
対処方法に従い処置して下さい。
▼〔対処方表示〕 メニュー〔通常画面〕

▼ にタッチ

『U:20』の対処方法
まず、 メニュー で解除して下さい。
浴槽の栓やふろ湯量設定を確認し、場合によっては配管洗浄を実施後、湯はりをやり直して下さい。処置後再発の場合は、故障の可能性がありますので、修理依頼をして下さい。
▼〔連絡先表示〕 メニュー〔通常画面〕

形名：HWH-FB372CG
修理のご依頼は、
販売(工事)店様に、ご依頼下さい。
リモコンに登録された電話番号は、
【※※※-※※※-※※※※】
もし、ご相談ができない場合は、
東芝電気給湯機ご相談センター
[0120-1048-19]まで。
▼〔エラー内容〕 メニュー〔通常画面〕

[U:22] 残湯量が少ないのに、湯はりをした場合…

『U:22』について
残湯量が少ないのに湯はりをしたり湯はり中にお湯を使用し、残湯量がなくなった場合に発生します。
メニュー で解除し、沸き増しを行い残湯量が2／5以上になってから、湯はりをして下さい。
メニュー〔通常画面〕

[U:23] 『おまかせ』設定で、残り湯ありで湯はりをした場合…

『U:23』について
沸き上げ設定が『おまかせ』で、浴槽の残り湯が水なのに、湯はりをした場合に発生します。
メニュー で解除し、浴槽の水をすて湯はりに十分な残湯量を確認し、湯はりをやりなおしてください。
メニュー〔通常画面〕

[U:25] ふろ自動運転中に、浴槽の栓を抜いた場合…

『U:25』について
ふろ自動運転中に浴槽の栓を抜くと発生します。(水位検知不能)
メニュー で解除して下さい。
浴槽の循環金具より上に湯があり発生する場合は、故障の可能性がありますので、修理を依頼して下さい。
▼〔連絡先表示〕 メニュー〔通常画面〕

▼ にタッチ

形名：HWH-FB372CG
修理のご依頼は、
販売(工事)店様に、ご依頼下さい。
リモコンに登録された電話番号は、
【※※※-※※※-※※※※】
もし、ご相談ができない場合は、
東芝電気給湯機ご相談センター
[0120-1048-19]まで。
▼〔エラー内容〕 メニュー〔通常画面〕

メニュー で通常画面が表示されます。

[U:27] 断水中に、湯はりをした場合…(その1)

『U:27』について
専用止水栓が閉じかけていたり、凍結や断水などで給水がされず、湯はりが60分で完了しない場合に発生します。
給水しない原因を取り除き、
メニュー で解除して下さい。
メニュー〔通常画面〕

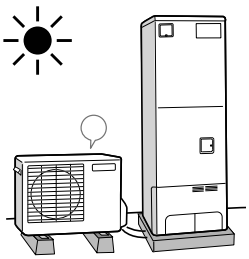
[H:1] [H:3] 断水中に、湯はりをした場合…(その2)

『H:1』『H:3』の対処方法
専用止水栓が閉じかけていたり、凍結や断水などで給水がされずに、ふろ自動運転をすると発生します。
原因を取り除き、 メニュー で解除。
給水ができて発生する場合は、故障ですので、修理依頼をして下さい。
▼〔連絡先表示〕 メニュー〔通常画面〕

よくあるお問い合わせ

ご使用中、ヒートポンプユニット、貯湯ユニットは下記の動作をすることがあります。

● 昼間も沸き上げている…



▶お湯が不足しないように、残湯量が減ってきたら沸き増しすることがあります。

▶冬など外気温が低い場合、夜間に沸かしきれない場合は昼間も沸き増しすることがあります。

▶夜間にお湯をたくさん使うと、夜間に沸かしきれない場合、昼間も沸き増しすることがあります。

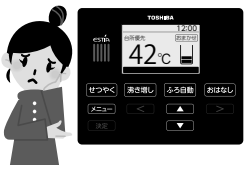
● 前の給湯機に比べるとお湯の出が悪い…

▶ガス（石油）給湯機に比べると、若干、お湯の出が弱くなります。（タンクに水を貯めるため、水圧を落とす調整をしています）

▶リモコンの給湯温度設定を混合水栓の湯温より10℃以上高めに設定して、混合水栓で水を混ぜて使用していただくと使い勝手が良くなります。

● お湯がたりない…

▶沸き上げ設定を、『**おおめ**』にしてください。
25ページ

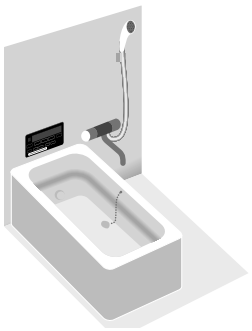


▶来客など、事前にお湯が多くなることがわかっている場合は、お湯の残湯量を増やしてからご使用ください。

①『**明日のために多めにお湯を沸かす**』**23ページ**

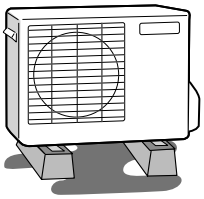
②『**沸き増しのしかた**』**24ページ**

● 浴槽やタイルが青くなる…



▶水に含まれる銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応した物で、人体には害はありません。
対処方法は、**6ページ**をご覧ください。

● ヒートポンプユニットの下がぬれている…



▶沸き上げ中は、空気中の水分が結露し、下部中央ドレン穴より少しずつ排出されます。寒い時期は結露水も出ます。凍結などにご注意ください。

● 浴槽が黒ずむ…

（銀イオン発生機能付機種のみ）

▶「**銀イオンの湯**」は除菌･防臭に効果を発揮しますが、銀イオンが光と反応し、浴槽の黒ずみの原因になることがあります。

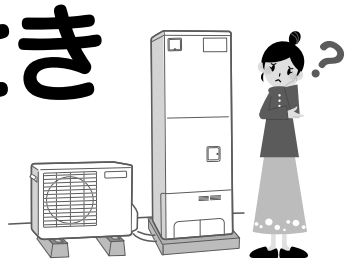
▶黒ずみの発生は以下で低減できます。

- 入浴時以外は、浴槽のふたを利用して光を浴槽水に当てないようにする。
- 洗濯水などへの利用が終わったら、すぐお湯を抜いて掃除する。(シャワーなどで流すだけでも効果があります。)
- （黒ずみが気になる場合）「**銀イオンの量**」を［**少なめ**］か［**なし**］に設定する。（設定方法は**30ページ**）

▶黒ずみの対処方法については、**40ページ**の「**浴槽の掃除**」をご覧ください。

▶なお、黒ずみは、汚れや発泡系の入浴剤などが原因の場合もあります。

故障かな?と思ったとき



■ お問い合わせや、修理を依頼される前にご確認ください。

このようなときには		これを確認してください
給湯の具合	お湯が出ない	●断水していませんか?（他の水栓から水は出ますか?） ⇒ 断水の場合、46ページ の処置後、終了するまでお待ちください。
		●配管が凍結していませんか? ⇒ 専用止水栓を閉めて、販売店または工事店にご相談ください。
		●専用止水栓が開いていることを確認してください ⇒ 開けかたは、15ページ
		●停電していませんか? ⇒ マンションなどの貯水槽から水が供給されている場合は電気が復旧するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	●ガス（石油）給湯機に比べると、若干ですが、お湯の出が弱いです。 （タンクに水を貯めるため、水圧を落とす調整をしています）
		●混合水栓のタイプによっては、水栓を全開にしてもお湯の出が悪い場合があります。 ⇒ リモコンの給湯温度を60℃に設定し、混合水栓で水を多く混ぜてご使用ください。17ページ
		●ふろ自動運転中や他で使用している場合は、蛇口やシャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。
		●専用止水栓が全開になっていることを確認してください。 ⇒ 開けかたは 15ページ
		●貯湯ユニットのストレーナー（フィルター）にゴミが詰まっていませんか?（掃除をしていますか?） ⇒ 41ページ の『ストレーナー内の掃除』の手順に従って、掃除を行ってください。
		●給水圧が低くなっていませんか?（200kPa以下） ⇒ お近くの水道局にお問合せください。
お湯の温度	お湯がぬるい （設定温度にならない）	●リモコンの給湯温度表示は目安です。 ・配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。 ・タンク内の温度が低い場合は、設定温度にならないことがあります。
		●お湯の出始めは、配管に残っている水が出ます。 ⇒ お湯が出るまで、少しお待ちください。
		●サーモスタット式混合水栓をご使用で、混合水栓の設定温度まで上がらない場合は、リモコンの給湯温度設定を混合水栓の温度より10℃以上高めに設定してください。 それでも上がらないときは、混合水栓メーカーにご相談ください。
		●貯湯ユニットのタンクに水アカやゴミがたまっていませんか? （タンクの掃除は行っていますか?） ⇒ 41ページ の『タンク内の掃除』の手順に従って、掃除を行ってください。
沸き上げ	お湯が沸かない	●貯湯ユニットの漏電しゃ断器が、「切」になっていませんか? （台所リモコンの液晶表示がすべて消えていませんか?） ⇒ 15ページ の『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を参照し、漏電しゃ断器を「入」にしてください。「入」にして、度々「切」になるようでしたら、販売店または工事店にご相談ください。
		●リモコンの時計が正しく設定されていますか? ・時計が合っていない場合（--:--表示の場合） ⇒ 16ページ の『時計を合わせる』の手順で合わせてください。
		●『運転停止』に設定していませんか? ⇒ 37ページ の『沸き上げの止めかた』の手順に従って、解除してください。

このようなときには		これを確認してください
沸き上げ	お湯がたりない	●夜間時間帯にお湯を多く使ったり、お風呂に湯はりをしましたか? ⇒ 夜間に沸かしたお湯を使用したために残湯量が減っています。 夜間のお湯の使用を控えていただくか、沸き増しを設定してください。
		●いつもに比べてお湯の使用量が多くなかったですか? ⇒ この製品は貯湯式ですので、一度に使える湯量に限度があります。 いつもより多く使う場合は、『**沸き増し**』を設定してください。**24ページ**
		●沸き上げていないときに、排水口からお湯が出ていませんか? ⇒ **42ページ** の『**点検をする**』の手順で、逃し弁の動作を確認してください。 ※沸き上げている最中に膨張水が出るのは正常です。
		●自動沸き増し禁止を設定していませんか? ⇒ **36ページ** の『**学習自動沸き増し**』を禁止している場合はお湯がたりなくなる場合があります。
	お湯がたりない 『おまかせ』設定	●前日の残り湯を追いだき（沸かしなおし）しませんでしたか? ⇒ **25ページ** の『**おおめ**』設定でお使いください。
		●いつもに比べてお湯の使用量が多くなかったですか? ⇒ **25ページ** の『**おまかせ**』設定で一週間以上、お湯のたりない日が続くようでしたら、『**おおめ**』設定でお使いください。
	沸き増し禁止なのに 昼間に沸かす	●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、 沸き増しを行う場合があります。
	沸き上げ停止なのに 沸き上げている	●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、 沸き増しを行う場合があります。
	夜になっても 沸き上げをしない	●夜間時間の終了時刻を目標に、沸き上げが終わるよう、 水温・外気温・残湯量によって、沸き上げ開始時間を調整しています。
	夜間時間帯の終了時刻 よりも早く止まる	●外気温や残湯量や残湯温度によって、沸き上げの完了時刻は前後する場合があります。
	停電復旧後や 修理後に湯量が 変わった	●沸き上げ設定が変わっていないか確認してください。 ●停電後や修理時には学習内容が初期化される場合があります。 学習期間は一週間ですので、そのままお使いください。
風呂（湯はり）	湯はり量が設定よりも少ない（湯はり時間が長い）	●専用止水栓が全開になっていることを確認してください。 ⇒ 開けかたは **15ページ**
	浴槽の温度が 上がらない	●沸き上げ・沸き増し運転中ではないですか? ⇒ 残湯量表示が点灯するまでお待ちください。
		●浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか?（掃除はしていますか?） ⇒ **40ページ** の『**浴槽循環金具の掃除**』の手順で掃除してください。
	追いだきで あつくならない	●残湯量表示があってもタンク内温度が低い場合は時間がかかります。 ⇒ **24ページ** の『**沸き増し**』を設定してください。
	湯はりの水位が いつもと違う	●浴槽循環金具より下に残り湯がある状態で、湯はりをしませんでしたか? ●湯はりを途中で止めたり、他の蛇口で水をたしたりしませんでしたか?
	自動たし湯をしない	●ふろ自動の設定で、『湯はり・保温』『湯はりのみ』にしていませんか? ⇒ **27ページ** の『**湯はり・保温・たし湯**』に設定してください。
	高温たし湯ができない	●浴槽循環金具の5cm以上うえにお湯がないと、高温たし湯を行いません。
	高温たし湯をしても 熱いお湯がでない	●残湯量表示があってもタンク内温度が低い場合は熱いお湯が出ません。 ⇒ **24ページ** の『**沸き増し**』を設定してください。
	浴槽循環金具から 水が出る	●保温やたし湯の開始時には、配管内の冷めたお湯が出ることがあります。 ●外気温が低いと、凍結防止のためポンプが動作し水が出る場合があります。

故障かな?と思ったとき(つづき)

このようなときには		これを確認してください
リモコン	リモコンが操作できない	●操作のロックを設定していませんか? ⇒ 10・12・14ページ の『各部のなまえとはたらき』を参照し、解除してください。
	操作の回数が多い 反応が悪い・過敏	●スイッチの感度、キー表示の点灯時間などを設定できます。 ● 32ページ の『リモコンの設定を替える』で設定を変更してください。
	リモコンの表示が消える	●節電のため、キー・表示ともに時限消灯します。 ⇒ 32ページ の『リモコンの設定を替える』で時間調整やキー表示を残せます。
	台所リモコンの表示が一瞬消える	●定期的に表示の更新を行います。 一瞬表示が消えたように見えることがありますが、故障ではありません。
	表示が勝手に点灯する 表示が消えない	●お湯を使用すると、キー・表示ともに点灯します。 また、50℃以上の給湯温度設定をすると、表示は消えません。
	ガイダンスをしない 聞こえない	●ガイダンスの制限をしていませんか? ⇒ 32・33ページ の『リモコンの設定を替える』の手順で変更してください。
	通話中に「ぶっ」と音がする	●『おはなし』中も、リモコンは本体と通信を行うために音がする場合がありますが、異常ではありません。
	通話中にラジオ放送が聞こえる	●近隣(数km以内)にラジオ放送局もしくは電波塔がある場合、ラジオ放送が入る場合がありますが、異常ではありません。
本体	ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す	●外気温が低いときなどは、凍結防止のために、運転/停止を繰り返すことがありますが、故障ではありません。
	貯湯ユニットの排水口からお湯が出る	●沸き上げ・沸き増し時は、膨張水を排水します。 異常ではありません。
	ヒートポンプユニットの背面が霜で白くなる	●外気温が低いと、霜が付く場合があります。 異常ではありません。
	ヒートポンプユニットの下部から水が出る	●沸き上げ中と停止後しばらくは結露水が出ます。異常ではありません。 常時、水が流れている場合は、販売店または工事店に点検を依頼してください。
	貯湯ユニットから音がする	●ふろ自動運転中や、凍結防止運転でポンプが動作し音がします。
	ヒートポンプユニットから音がする	●沸き上げ中や凍結防止運転中は音がします。 ●外気温が低いと、運転音が大きくなる場合があります。
残湯量表示	残湯量表示が一度に複数消灯する	●普段よりお湯を多く使った場合や、保温や追いだきを行った場合は、タンク内の湯温が下がり表示が消える場合があります。
	朝になってもすべて点灯しない	●お湯の使用量によっては、全量を沸かしません。 ●夜間時間帯にお湯を使用すると、沸き上げが完了しないこともあります。 ●外気温が低いときは、沸き上げが完了しない場合があります。 ●夜間時間帯に、停電があると沸き上げを完了しない場合があります。
	残湯量表示が多くあるのに沸き増しをする	●お風呂の湯はりを考慮して、沸き増しを行う場合があります。 また、ふろ自動運転中は、保温のために沸き増しをする場合があります。 ⇒ 不要な場合は、36ページ の『学習自動沸き増しの止めかた』で停止してください。
その他	浴槽やタイルが青くなる	●水に含まれる銅イオンが、石けんなどの脂肪酸と反応し青くなることがあります。人体には無害です。 6 ページ
	お湯に油が浮く お湯が臭い	●初めてお使いの場合は、設置工事の際の油やにおいがお湯に付く場合があります。しばらくお使いいただくと消えていきます。 消えない場合は、タンク内を一度排水してください。
	お湯を止めると「ゴン」と音がする	●水圧が高い地域で混合止水栓のシングルレバータイプを使用すると起こりやすい現象です。 ⇒ 水撃防止器を取り付けることで改善できます。お買い上げの販売店または工事店に、ご相談ください。

5年保証に関する免責事項

5 年保証に関する免責事項について（重要なお知らせ）

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
- 下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 消耗部品（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、電磁弁（簡易ホッパー）、ポンプ、二方弁、三方弁、水位センサー、銀イオン発生ユニット）の交換。
  ※消耗部品の保証期間は2年間です。
- 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、海岸付近（塩害地向け製品を除く）、温泉地などの地域における塩害、腐食性の有毒ガス、浄化槽からの臭気などの空気環境に起因する不具合や異常電圧で生じた故障および損傷。
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- タンクに供給する水が以下の場合。
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。
    ※水質基準内であっても塩素濃度・石灰分・その他不純物の含有、また酸性水質の場合にはタンク・部品などの劣化を早め故障・水漏れの原因となる場合があります。
  - 温泉水・地下水・井戸水や塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていた場合や、酸性水質の場合。
  - マンションなどの貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。（タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。）
  - 電気・給水の供給トラブル・凍結などによる故障および損傷。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却などに使用された場合の故障および損傷。
- 浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・カエル・ヤモリなどの動物の行為に起因する不具合。
- 経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。（音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。）
- 当社指定の別売部品を使用しなかったことが原因で不良となった場合。
- 防水処理・排水処理されていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害。
- 台所リモコンに水をかけた場合。（台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけたりしないでください。）
- 機器の故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。（この製品は日本国内専用です。）

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

仕様表

■システム・ユニット形名対照表

●耐重塩害仕様は、各形名の末尾に「-GZ」が付きます。貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの質量は下表と同じです。

		一般地（銀イオン発生機能付）			
システム形名		HWH-FB372CG	HWH-FB462SCG	HWH-FB462CG	HWH-FB562CG
	耐塩害仕様	HWH-FB372CG-Z	HWH-FB462SCG-Z	—	—
貯湯ユニット形名		HWH-FB372CTG	HWH-FB462SCTG	HWH-FB462CTG	HWH-FB562CTG
	耐塩害仕様	HWH-FB372CTG-Z	HWH-FB462SCTG-Z	—	—
ヒートポンプユニット形名		HWH-452CU	HWH-602CU	HWH-602CU	HWH-732CU
	耐塩害仕様	HWH-452CU-Z	HWH-602CU-Z	—	—

■仕様表

システム形名 貯湯ユニット+ヒートポンプユニット			一般地向け（耐塩害仕様）			
			HWH-FB372CG（-Z）	HWH-FB462SCG（-Z）	HWH-FB462CG	HWH-FB562CG
適用電力制度			季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕			
電源定格			単相200V（50Hz/ 60Hz共用）			
最大電流			17A	18A	18A	19A
沸き上げ温度範囲			約65℃～約90℃（水温・外気温により可変）			
年間給湯保温効率(JIS)※1 ※2			2.8	2.8	2.8	2.7
仕向地			次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域 ●次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据え付けはできません。最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸き上げ温度は変化します。●外気温がマイナス5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80～85℃となります。			
用　途			セントラル給湯・ふろ全自動			
			2～5人家族用	4～7人家族用	4～7人家族用	5～8人家族用

貯湯ユニット形名			HWH-FB372CTG（-Z）	HWH-FB462SCTG（-Z）	HWH-FB462CTG	HWH-FB562CTG
貯湯ユニット	タンク容量		370L	460L	460L	560L
	設置条件		屋外・屋内兼用			
	外形寸法	幅	630mm	630mm	700mm	700mm
		奥行	730mm	730mm	800mm	800mm
		高さ	1800mm	2140mm	1810mm	2110mm
	質量（満水時）		約64（434）kg	約73（533）kg	約73（533）kg	約83（643）kg
	消費電力	風呂用ポンプ	65W			
		追いだき用ポンプ	40W			
		沸き上げ用ポンプ	40W			
		凍結防止ヒーター	20W		30W	20W
		制御用消費電力	15W（待機時：5W ※9）			
	水側最高使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）			
	配管口径		給水・給湯：R3/4　浴槽・ヒートポンプ接続：R1/2			
		排水口	排水：R3/4			
	給湯温度設定		27℃～48℃（1℃刻み）、50℃、55℃、60℃			
	浴槽の目安		120L～450L			
	ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・差し水・洗浄			

ヒートポンプユニット形名			HWH-452CU（-Z）	HWH-602CU（-Z）	HWH-602CU	HWH-732CU
ヒートポンプユニット	外形寸法	幅	820mm			
		奥行	320mm			
		高さ	712mm			
	質量		約57kg			約61kg
	中間期標準加熱能力 ※4 ※5		4.5kW	6.0kW	6.0kW	7.3kW
	中間期標準消費電力 ※5		0.98kW	1.33kW	1.33kW	1.69kW
	中間期標準運転電流 ※5		6.4A	8.5A	8.5A	10.3A
	夏期加熱能力/消費電力 ※4 ※6		4.5kW / 0.880kW			4.5kW / 0.920kW
	冬期高温加熱能力 ※3 ※4 ※7		4.5kW	6.0kW	6.0kW	7.3kW
	冬期高温消費電力 ※7		1.50kW	2.00kW	2.00kW	2.40kW
	運転音(中間期※5/冬期※7)※8		38/44dB	42/46dB	42/46dB	44/47dB
	冷媒名/封入量		CO_2(R744)/0.90kg			CO_2(R744)/1.21kg
	設計圧力		高圧：14.5MPa／低圧：9.0MPa			
	設置可能最低外気温度 ※10		−10℃			

※1 年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220：2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量と風呂保温熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L 使用し、ふろの保温時間を3時間（保温熱量4.12MJ）行う条件等を想定したものです。

※年間給湯保温効率算出時の条件
着霜期高温条件：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯保温モード条件（冬期）：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度70℃（460L、560Lタイプは65℃）
給湯保温モード条件（着霜期）：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度70℃（460L、560Lタイプは65℃）
夜間消費電力量比率：80%

※2 沸き上げモード：「おまかせ」設定　※3 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。　※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※5 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃ ※6 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※8 運転音は、JIS C9220:2011 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※9 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。なお、台所リモコンと浴室リモコンを計2個接続した状態で測定しています。
※10 運転使用範囲は−10℃～43℃です。　※仕様は改善のため変更することがあります。

●耐重塩害仕様は、各形名の末尾に「-GZ」が付きます。貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの質量は下表と同じです。

		一般地	
システム形名		HWH-FB372C	HWH-FB462SC
	耐塩害仕様	—	—
貯湯ユニット形名		HWH-FB372CT	HWH-FB462SCT
	耐塩害仕様	—	—
ヒートポンプユニット形名		HWH-452CU	HWH-602CU
	耐塩害仕様	—	—

■仕様表

システム形名 貯湯ユニット+ヒートポンプユニット			一般地向け（耐塩害仕様）	
			HWH-FB372C	HWH-FB462SC
適用電力制度			季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕	
電源定格			単相200V（50Hz/ 60Hz共用）	
最大電流			17A	18A
沸き上げ温度範囲			約65℃～約90℃（水温・外気温により可変）	
年間給湯保温効率(JIS)※1 ※2			2.8	2.8
仕向地			次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域 ●次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据え付けはできません。最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸き上げ温度は変化します。●外気温がマイナス5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80～85℃となります。	
用　途			セントラル給湯・ふろ全自動	
			2～5人家族用	4～7人家族用

貯湯ユニット形名			HWH-FB372CT	HWH-FB462SCT
貯湯ユニット	タンク容量		370L	460L
	設置条件		屋外・屋内兼用	
	外形寸法	幅	630mm	630mm
		奥行	730mm	730mm
		高さ	1800mm	2140mm
	質量（満水時）		約64（434）kg	約73（533）kg
	消費電力	風呂用ポンプ	65W	
		追いだき用ポンプ	40W	
		沸き上げ用ポンプ	40W	
		凍結防止ヒーター	20W	
		制御用消費電力	15W（待機時：5W ※9）	
	水側最高使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）	
	配管口径		給水・給湯：R3/4　浴槽・ヒートポンプ接続：R1/2	
		排水口	排水：R3/4	
	給湯温度設定		27℃～48℃（1℃刻み）、50℃、55℃、60℃	
	浴槽の目安		120L～450L	
	ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・差し水・洗浄	

ヒートポンプユニット形名			HWH-452CU	HWH-602CU
ヒートポンプユニット	外形寸法	幅	820mm	
		奥行	320mm	
		高さ	712mm	
	質量		約57kg	
	中間期標準加熱能力 ※4 ※5		4.5kW	6.0kW
	中間期標準消費電力 ※5		0.98kW	1.33kW
	中間期標準運転電流 ※5		6.4A	8.5A
	夏期加熱能力/消費電力 ※4 ※6		4.5kW / 0.880kW	
	冬期高温加熱能力 ※3 ※4 ※7		4.5kW	6.0kW
	冬期高温消費電力 ※7		1.50kW	2.00kW
	運転音(中間期※5/冬期※7)※8		38/44dB	42/46dB
	冷媒名/封入量		CO_2(R744)/0.90kg	
	設計圧力		高圧：14.5MPa／低圧：9.0MPa	
	設置可能最低外気温度 ※10		−10℃	

※1 年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220：2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量と風呂保温熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L 使用し、ふろの保温時間を3時間（保温熱量4.12MJ）行う条件等を想定したものです。
※年間給湯保温効率算出時の条件
着霜期高温条件：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯保温モード条件（冬期）：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度70℃（460Lタイプは65℃）
給湯保温モード条件（着霜期）：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度70℃（460Lタイプは65℃）
夜間消費電力量比率：80%
※2 沸き上げモード：「おまかせ」設定　※3 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。　※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※5 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃ ※6 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※8 運転音は、JIS C9220:2011 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※9 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。なお、台所リモコンと浴室リモコンを計2個接続した状態で測定しています。
※10 運転使用範囲は−10℃～43℃です。　※仕様は改善のため変更することがあります。

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

販売店または工事店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-19**

受付時間:365日 24時間電話でお応えします。

携帯電話・PHS など **03-5365-7420**（通話料：有料）

FAX **0947-32-2892**（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店（工事店）名」などの記入をお確かめのうえ、販売店（工事店）から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。（ただし、消耗部品は2年間です）
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器を「切」にし、専用止水栓を閉じてからお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品　名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH-□□□□□□□
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店（工事店）名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

愛情点検

このような症状はありませんか。	ご使用中止
● お湯の出が悪い。●お湯が早くなくなる。 ● 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。 ● 設置場所が常にぬれている。 ● 時々、漏電しゃ断器が働く。 ● その他の異常、故障がある。	故障や事故防止のため、漏電しゃ断器を「切」にし、専用止水栓を閉じてから、必ずお買い上げの販売店（工事店）に点検修理（有料）をご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521　静岡県富士市蓼原 336 番地

http://www.toshiba-carrier.co.jp/

EF99905501-③